

基本計画書

基本計画										
事項	記入欄								備考	
計画の区分	研究科の専攻の設置									
フリガナ設置者	コリツカクイガクシケン カゴシマダクイク 国立大学法人 鹿児島大学									
フリガナ大学の名称	カゴシマダクイカクダクイン 鹿児島大学大学院									
大学の位置	鹿児島県鹿児島市郡元一丁目21番24号									
大学の目的	鹿児島大学は、広く知識を授けるとともに深く専門の学芸を教授研究し、知的、道徳的及び応用的能力を展開させ、もって学術文化の向上に寄与する有為な人材を育成することを目的とする。									
新設研究科等の目的	農学に関連する幅広い学問と高度な専門知識・技術を修得し、諸課題を探索・解決する能力を有する人材を育成する。確かな分析力・俯瞰力・説明能力を身につけ、困難な課題に挑むチャレンジ精神やグローバルな視野を備え、地域社会と国際社会に貢献できる人材を育成する。									
新設研究科等の概要	新設研究科等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位	学位の分野	開設時期及び開設年次	所在地	14条特例の実施
	連合農学研究科 農水生命科学専攻 計	年	人	年次人	人	博士（農学） 博士（水産学） 博士（学術）	農学関係	令和7年4月 第1年次	鹿児島県鹿児島市郡元一丁目21番24号	
同一設置者内における変更状況（定員の移行、名称の変更等）	<p>【研究科の専攻の設置】 理工学研究科（博士前期課程） 情報科学専攻 (74) (令和6年4月事前相談)</p> <p>【入学定員の変更】 理工学研究科（博士前期課程） 理学専攻〔定員減〕 (Δ10) (令和6年4月事前相談) 工学専攻〔定員減〕 (Δ59) (令和6年4月事前相談) 理工学研究科（博士後期課程） 総合理工学専攻〔定員減〕 (Δ8) (令和7年4月 ※概算要求) 共同獣医学研究科（博士課程） 獣医学専攻〔定員増〕 (2) (令和7年4月 ※概算要求)</p>									
教育課程	新設研究科等の名称	開設する授業科目の総数				修了要件単位数				
	連合農学研究科農水生命科学専攻	講義	演習	実験・実習	計	12単位				
		5科目	2科目	3科目	10科目					
新設分	研究科等の名称	専任教員					助手	専任教員以外の教員 (助手を除く)		
		教授	准教授	講師	助教	計				
	連合農学研究科 農水生命科学専攻（博士課程）	72人 (81)	83人 (87)	1人 (1)	10人 (10)	166人 (179)	0人 (0)	34人 (34)	令和6年4月 事前相談	
	理工学研究科 情報科学専攻（博士前期課程）	9人 (9)	12人 (12)	1人 (1)	2人 (2)	24人 (24)	0人 (0)	122人 (122)		
	計	81人 (90)	95人 (99)	2人 (2)	12人 (12)	190人 (203)	0人 (0)	一人 (一)		
	既設分									
	人文社会科学研究科 法学専攻（博士前期課程）	7人 (7)	2人 (2)	0人 (0)	1人 (1)	10人 (10)	0人 (0)	1人 (1)		
	経済社会システム専攻（博士前期課程）	10人 (10)	6人 (6)	0人 (0)	2人 (2)	18人 (18)	0人 (0)	0人 (0)		
	人間環境文化論専攻（博士前期課程）	10人 (10)	16人 (16)	0人 (0)	0人 (0)	26人 (26)	0人 (0)	0人 (0)		
	国際総合文化論専攻（博士前期課程）	15人 (15)	11人 (11)	0人 (0)	0人 (0)	26人 (26)	0人 (0)	0人 (0)		
	地域政策科学専攻（博士後期課程）	20人 (20)	8人 (8)	0人 (0)	0人 (0)	28人 (28)	0人 (0)	1人 (1)		
	教育学研究科 学校教育実践高度化専攻（専門職学位課程）	7人 (7)	5人 (5)	0人 (0)	1人 (1)	13人 (13)	0人 (0)	1人 (1)		
	保健学研究科 保健学専攻（博士前期課程）	16人 (16)	7人 (7)	2人 (2)	8人 (8)	33人 (33)	0人 (0)	0人 (0)		
	保健学専攻（博士後期課程）	16人 (16)	6人 (6)	0人 (0)	3人 (3)	25人 (25)	0人 (0)	0人 (0)		
	理工学研究科 理学専攻（博士前期課程）	12人 (15)	20人 (20)	1人 (1)	7人 (7)	40人 (43)	0人 (0)	6人 (6)		

既設	工学専攻（博士前期課程）	25人 (29)	34人 (34)	0人 (0)	24人 (24)	83人 (87)	0人 (0)	4人 (4)
	総合理工学専攻（博士後期課程）	55人 (55)	66人 (66)	1人 (1)	1人 (1)	123人 (123)	0人 (0)	7人 (7)
	農林水産学研究科 農林資源科学専攻（修士課程）	15人 (15)	17人 (17)	0人 (0)	7人 (7)	39人 (39)	0人 (0)	0人 (0)
	食品創成科学専攻（修士課程）	8人 (8)	17人 (17)	0人 (0)	2人 (2)	27人 (27)	0人 (0)	3人 (3)
	環境フィールド科学専攻（修士課程）	6人 (6)	5人 (5)	0人 (0)	6人 (6)	17人 (17)	0人 (0)	0人 (0)
	水産資源科学専攻（修士課程）	9人 (9)	7人 (7)	0人 (0)	4人 (4)	20人 (20)	0人 (0)	0人 (0)
	医歯学総合研究科 医科学専攻（修士課程）	67人 (67)	38人 (38)	42人 (42)	140人 (140)	287人 (287)	0人 (0)	0人 (0)
	健康科学専攻（博士課程）	20人 (20)	11人 (11)	10人 (10)	36人 (36)	77人 (77)	0人 (0)	6人 (6)
	先進治療科学専攻（博士課程）	37人 (37)	17人 (17)	19人 (19)	71人 (71)	144人 (144)	0人 (0)	33人 (33)
	臨床心理学研究科 臨床心理学専攻（専門職学位課程）	3人 (3)	4人 (4)	0人 (0)	0人 (0)	7人 (7)	0人 (0)	3人 (3)
	共同獣医学研究科 獣医学専攻（博士課程）	17人 (17)	11人 (11)	0人 (0)	2人 (2)	30人 (30)	0人 (0)	0人 (0)
	分	計	375人 (382)	308人 (308)	75人 (75)	315人 (315)	1073人 (1080)	0人 (0)
合 計		456人 (472)	403人 (407)	77人 (77)	327人 (327)	1263人 (1283)	0人 (0)	－人 (－)
職 種		専 属		そ の 他		計		
事 務 職 員		426 人 (426)		62 人 (62)		488 人 (488)		
技 術 職 員		90 (90)		43 (43)		133 (133)		
図 書 館 職 員		8 (8)		0 (0)		8 (0)		
そ の 他 の 職 員		508 (508)		0 (0)		508 (508)		
指 導 補 助 者		256 (256)		0 (0)		256 (256)		
計		1,288 (1,288)		105 (105)		1,393 (1,393)		
校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用		計		
	校 舎 敷 地	591,341 m ²	0 m ²	0 m ²		591,341 m ²		
	そ の 他	35,962,939 m ²	0 m ²	0 m ²		35,962,939 m ²		
	合 計	36,554,280 m ²	0 m ²	0 m ²		36,554,280 m ²		
校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用		計		
		240,236 m ² (240,236 m ²)	0 m ² (0 m ²)	0 m ² (0 m ²)		240,236 m ² (240,236 m ²)		
講義室等・新設研究科等の 専任教員研究室		講義室	実験・実習室	演習室	新設研究科等の 専任教員研究室			
		153 室	533 室	126 室	244 室			
図 書 ・ 設 備	新設研究科等の名称	図書 〔うち外国書〕	学術雑誌 〔うち外国書〕		機械・器具	標本	大学全体	
		冊	電子図書 〔うち外国書〕	種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	点		点
	連合農学研究科 農水生命科学専攻	1,230,944 [337,696] (1,230,944 [337,696])	11,830 [8,068] (11,830 [8,068])	40,187 [12,349] (40,187 [12,349])	7,697 [6,126] (7,697 [6,126])	1,725 (1,725)		1,354,970 (1,354,970)
	計	1,230,944 [337,696] (1,230,944 [337,696])	11,830 [8,068] (11,830 [8,068])	40,187 [12,349] (40,187 [12,349])	7,697 [6,126] (7,697 [6,126])	1,725 (1,725)		1,354,970 (1,354,970)
経 費 の 見 積 り 及 び 維 持 方 法 の 概 要	経 費 の 見 積 り	区 分	開設前年度	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次
		教員1人当り研究費等		千円	千円	千円	千円	千円
		共同研究費等		千円	千円	千円	千円	千円
		図書購入費	千円	千円	千円	千円	千円	
	設備購入費	千円	千円	千円	千円	千円		
	学生1人当り 納付金			第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次
			千円	千円	千円	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要								

既設大学等の状況	大学等の名称		国立大学法人 鹿児島大学					取 容 定 員 充 足 率	開 設 年 度	所 在 地	
	学 部 等 の 名 称		修 業 年 限	入 学 定 員	編 入 学 定 員	収 容 定 員	学 位 又 は 称 号				
	年	人	年 次 人	人	人		倍				
	法文学部										
	法経社会学科	4	245	3年次 10	996	学士(法学・経済学・学術)	1.02	平成29年度	鹿児島市郡元一丁目21番30号	令和6年度3年次編入学定員増(法経社会学科4人、人文学科6人) ※編入学定員は各学科収容定員の内数	
	人文学科	4	165	3年次 10	674	学士(文学)	1.02	平成29年度			
	教育学部										
	学校教育教員養成課程	4	190	3年次 5	765	学士(教育学)	1.04	平成9年度	鹿児島市郡元一丁目20番6号	令和6年度3年次編入学定員増(5人) ※編入学定員は収容定員の内数	
	理学部										
	理学科	4	185	-	740	学士(理学)	1.01	令和2年度	鹿児島市郡元一丁目21番35号		
	数理情報科学科	-	-	-	-	学士(理学)	-	平成9年度		令和2年度より学生募集停止(数理情報科学科、物理科学科、生命化学科、地球環境科学科)	
	物理科学科	-	-	-	-	学士(理学)	-	平成9年度			
	生命化学科	-	-	-	-	学士(理学)	-	平成9年度			
	地球環境科学科	-	-	-	-	学士(理学)	-	平成9年度			
	医学部										
	医学科	6	110	2年次 10	707	学士(医学)	0.98	昭和30年度	鹿児島市桜ヶ丘八丁目35番1号	6年制学科 ※編入学定員は収容定員の内数	
	保健学科										
	看護学専攻	4	80	-	330	学士(看護学)	0.96	平成11年度		4年制学科 令和6年度3年次編入学定員減(看護学専攻△10人、理学療法専攻△5人、作業療法専攻△5人)	
	理学療法専攻	4	20	-	85	学士(保健学)	0.94	平成11年度			
	作業療法専攻	4	20	-	85	学士(保健学)	0.94	平成11年度			
	歯学部										
	歯学科	6	53	-	318	学士(歯学)	0.96	昭和52年度	鹿児島市桜ヶ丘八丁目35番1号		
	工学部										
	先進工学科	4	385	3年次 17	1,574	学士(工学)	1.00	令和2年度	鹿児島市郡元一丁目21番40号	※編入学定員は各学科収容定員の内数	
	建築学科	4	55	3年次 3	226	学士(工学)	1.02	令和2年度			
	機械工学科	-	-	-	-	学士(工学)	-	平成4年度		令和2年度より学生募集停止(機械工学科、電気電子工学科、建築学科、環境化学プロセス工学科、海洋土木工学科、情報生体システム工学科、化学生命工学科)	
	電気電子工学科	-	-	-	-	学士(工学)	-	平成4年度			
	建築学科	-	-	-	-	学士(工学)	-	昭和30年度			
	環境化学プロセス工学科	-	-	-	-	学士(工学)	-	平成21年度			
	海洋土木工学科	-	-	-	-	学士(工学)	-	平成4年度			
	情報生体システム工学科	-	-	-	-	学士(工学)	-	平成21年度			
	化学生命工学科	-	-	-	-	学士(工学)	-	平成21年度			
	農学部										
	農学科	4	175	3年次 5	180	学士(農学)	1.03	令和6年度	鹿児島市郡元一丁目21番24号		
	農業生産科学科	4	-	-	-	学士(農学)	-	平成28年度		令和6年度より学生募集停止(農業生産科学科、食料生命科学科、農林環境科学科)	
	食料生命科学科	4	-	-	-	学士(農学)	-	平成28年度			
	農林環境科学科	4	-	-	-	学士(農学)	-	平成28年度			

既設大学等の状況	水産学部 水産学科	4	140	-	560	学士(水産学)	1.03	昭和50年度	鹿児島市下荒田四丁目50番20号	
	共同獣医学部 共同獣医学科	6	30	-	180	学士(獣医学)	1.02 1.02	令和6年度	鹿児島市郡元一丁目21番24号	6年制学科 令和6年度より 名称変更(共同 獣医学科) 4年制学科
	畜産学科	4	30	-	30	学士(農学)	1.03	令和6年度		
	〔修士(博士前期)〕									
	人文社会科学研究科 法学専攻	2	5	-	10	修士(法学)	1.01 0.90	平成10年度	鹿児島市郡元一丁目21番30号	
	経済社会システム専攻	2	10	-	20	修士(経済学・社会学)	0.70	平成10年度		
	人間環境文化論専攻	2	5	-	10	修士(文学)	1.60	平成10年度		
	国際総合文化論専攻	2	8	-	16	修士(文学)	1.12	平成10年度		
	医歯学総合研究科 医科学専攻	2	15	-	30	修士(医科学)	0.73 0.73	平成16年度	鹿児島市桜ヶ丘八丁目35番1号	
	保健学研究科 保健学専攻	2	22	-	44	修士(保健学・看護学)	1.15 1.15	平成15年度	鹿児島市桜ヶ丘八丁目35番1号	
	理工学研究科 理学専攻	2	64	-	128	修士(理学・学術)	1.00 1.00	令和2年度	鹿児島市郡元一丁目21番40号	
	工学専攻	2	237	-	474	修士(工学・学術)	1.00	令和2年度		
	農林水産学研究科 農林資源科学専攻	2	39	-	78	修士(農学)	1.08 0.91	平成31年度	鹿児島市郡元一丁目21番24号・鹿児島市下荒田四丁目50番20号	
	食品創成科学専攻	2	26	-	52	修士(農学・水産学)	1.26	平成31年度		
	環境フィールド科学専攻	2	16	-	32	修士(農学・水産学)	1.50	平成31年度		
	水産資源科学専攻	2	20	-	40	修士(水産学)	0.87	平成31年度		
	〔博士後期〕									
	人文社会科学研究科 地域政策科学専攻	3	6	-	18	博士(学術)	1.55 1.55	平成15年度	鹿児島市郡元一丁目21番30号	
	医歯学総合研究科 健康科学専攻	4	19	-	76	博士(医学・歯学・学術)	1.53 1.02	平成15年度	鹿児島市桜ヶ丘八丁目35番1号	
	先進治療科学専攻	4	31	-	124	博士(医学・歯学・学術)	1.84	平成15年度		
	保健学研究科 保健学専攻	3	6	-	18	博士(保健学)	1.44 1.44	平成17年度	鹿児島市桜ヶ丘八丁目35番1号	
	理工学研究科 総合理工学専攻	3	24	-	72	博士(理学・工学・学術)	0.47 0.47	平成28年度	鹿児島市郡元一丁目21番40号	
	共同獣医学研究科 獣医学専攻	4	6	-	24	博士(獣医学)	1.79 1.79	平成30年度	鹿児島市郡元一丁目21番24号	
	連合農学研究科 生物生産科学専攻	3	7	-	21	博士(農学・水産学・学術)	1.55 1.47	平成21年度	鹿児島市郡元一丁目21番24号	
	応用生命科学専攻	3	8	-	24	博士(農学・水産学・学術)	1.33	平成21年度		
	農水圏資源環境科学専攻	3	8	-	24	博士(農学・水産学・学術)	1.83	平成21年度		
〔専門職学位課程〕										
教育学研究科 学校教育実践高度化専攻	2	20	-	40	教職修士(専門職)	1.05 1.05	令和3年度	鹿児島市郡元一丁目20番6号		
臨床心理学研究科 臨床心理学専攻	2	15	-	30	臨床心理修士(専門職)	1.06 1.06	平成19年度	鹿児島市郡元一丁目21番30号		

附属施設の概要

<p>名称：高等教育研究開発センター 目的：高等教育に関する研究・開発・提言及び高等教育に係る全学的な連絡調整 所在地：鹿児島市郡元一丁目21番30号 設置年月：平成29年4月 規模等：共通教育棟の一部を使用</p>
<p>名称：共通教育センター 目的：全学協力体制に基づいて実施する共通教育・基礎教育、学芸員資格科目及び大学院共通科目等に関する企画・立案・実施、外国語教育の企画・提言並びに教育に係る全学的な連絡調整 所在地：鹿児島市郡元一丁目21番30号 設置年月：平成29年10月 規模等：共通教育棟の一部を使用</p>
<p>名称：キャリア形成支援センター 目的：全学的なキャリア形成支援体制のもとで、キャリア教育及びインターンシップを含めたキャリア形成・就職支援を充実・推進し、学生の多様なキャリア形成を全学的立場から支援 所在地：鹿児島市郡元一丁目21番30号 設置年月：令和2年4月 規模等：共通教育棟の一部を使用</p>
<p>名称：中等・高等教育接続センター 目的：入学者選抜方法等に係る企画・調査・研究、入試広報、アドミッションに関するIR（調査・分析）、本学への志望度を高める中高大接続事業、多様な学生の入学に伴う学びの複線化、高大接続育成型入試の実施 所在地：鹿児島市郡元一丁目21番24号 設置年月：令和5年4月 規模等：事務局の一室を使用</p>
<p>名称：グローバルセンター 目的：教育研究の国際活動、海外機関との連携、国際協力事業支援、海外広報、外国人留学生に対する日本語教育 所在地：鹿児島市郡元一丁目21番30号 設置年月：平成28年4月 規模等：共通教育棟の一部を使用</p>
<p>名称：教師教育開発センター 目的：全学的な指導体制下における教員養成カリキュラムの管理・運営、地域社会と連携した教員研修等の支援、教職課程の質保証の推進 所在地：鹿児島市郡元一丁目21番30号 設置年月：令和6年4月 規模等：共通教育棟の一部を使用</p>
<p>名称：稲盛アカデミー 目的：倫理、哲学、経営哲学に関する教育 所在地：鹿児島市郡元一丁目21番30号 設置年月：平成17年4月 規模等：建物1,601㎡</p>
<p>名称：ヒトレトロウイルス学共同研究センター 目的：ヒトレトロウイルス感染症の感染予防及び治癒を目指し、世界的・全国的な研究及び教育の総合的推進 所在地：鹿児島市桜ヶ丘八丁目35番1号 設置年月：平成31年4月 規模等：建物1,290㎡</p>
<p>名称：附属図書館 目的：教育と研究に資する図書資料その他の学術資料の収集管理 所在地：鹿児島市郡元一丁目21番35号 設置年月：昭和24年5月 規模等：建物15,509㎡</p>
<p>名称：保健管理センター 目的：学生及び職員の内身の健康保持、増進 所在地：鹿児島市郡元一丁目21番24号 設置年月：昭和47年5月 規模等：建物902㎡</p>
<p>名称：総合研究博物館 目的：学術標本資料の収蔵、展示、公開及び学術標本資料に関する教育研究の支援 所在地：鹿児島市郡元一丁目21番30号 設置年月：平成13年4月 規模等：建物531㎡</p>

附属施設の概要

<p>名称：埋蔵文化財調査センター 目的：埋蔵文化財の調査、保護対策 所在地：鹿児島市郡元一丁目21番24号 設置年月：平成24年4月 規模等：事務局車庫の一部を使用</p>
<p>名称：環境安全センター 目的：有害廃棄物及び実験排水に関する情報の集約、適正な処理の推進及び環境の保全 所在地：鹿児島市郡元一丁目21番24号 設置年月：平成31年4月 規模等：共通教育棟の一部を使用</p>
<p>名称：情報基盤統括センター 目的：DX(デジタル・トランスフォーメーション)の推進、地域のDXの積極的支援、情報通信基盤を支え、情報環境の高度化推進、研究開発 所在地：鹿児島市郡元一丁目21番35号 設置年月：令和4年4月 規模等：建物2,347㎡</p>
<p>名称：地域防災教育研究センター 目的：防災に関する教育研究、地域と連携した地域防災体制の向上 所在地：鹿児島市郡元一丁目21番40号 設置年月：令和4年4月 規模等：産学交流プラザの一部を使用</p>
<p>名称：南九州・南西諸島域イノベーションセンター 目的：グローバル卓越研究と産学・地域連携を両立する支援体制の強化、研究活動の活性化、外部資金獲得の推進及び研究成果の社会実装によるイノベーションの創出 所在地：鹿児島市郡元一丁目21番40号 設置年月：令和4年4月 規模等：建物2,626㎡</p>
<p>名称：国際島嶼教育研究センター 目的：島嶼域を対象とした自然・人間・文化社会環境にかかわる問題に関する教育及び統合的かつ学際的調査研究 所在地：鹿児島市郡元一丁目21番24号 設置年月：平成22年4月 規模等：総合教育研究棟の一部を使用</p>
<p>名称：先端科学研究推進センター 目的：動物実験、遺伝子実験及び放射性同位元素を活用した教育研究の支援、高度先端研究機器・設備の一元的管理・運営及び研究、先進的感染制御等の国際レベルの研究による地域への貢献等を推進 所在地：鹿児島市郡元一丁目21番24号 設置年月：令和4年4月 規模等：建物6,732㎡</p>
<p>名称：附属病院 目的：医学・歯学の教育、研究及び診療 所在地：鹿児島市桜ヶ丘八丁目35番1号 設置年月：平成15年10月 規模等：土地109,503㎡、建物100,295㎡</p>
<p>名称：法文学部附属司法政策教育研究センター 目的：法学分野の教育研究の振興、司法政策に関する調査研究及び社会貢献活動 所在地：鹿児島市郡元一丁目21番30号 設置年月：令和4年4月 規模等：総合教育研究棟の一部を使用</p>
<p>名称：法文学部附属「鹿児島の近現代」教育研究センター 目的：鹿児島の近現代に関する教育研究促進及び地域マネジメント人材の育成並びにその成果の地域への還元 所在地：鹿児島市郡元一丁目21番30号 設置年月：令和4年10月 規模等：総合教育研究棟の一部を使用</p>
<p>名称：教育学部附属幼稚園 目的：義務教育及びその後の教育を培うものとして、幼児を保育し、幼児の健やかな成長のために適当な環境を与えて、その心身の発達を助長する。幼児の保育に関する研究に協力し、学生の教育実習に当たる。 所在地：鹿児島市郡元一丁目20番15号 設置年月：昭和26年4月 規模等：建物700㎡</p>

附属施設の概要

名称：教育学部附属小学校
目的：心身の発達に応じて、義務教育として行われる普通教育のうち基礎的なものを施す。児童の教育に関する研究に協力し、学生の教育実習に当たる。小学校教育に関する理論的・実践的研究を行う。鹿児島県の小学校教育の向上に資する。
所在地：鹿児島市郡元一丁目20番15号
設置年月：昭和24年9月
規模等：建物8,161㎡
名称：教育学部附属中学校
目的：生徒の教育に関する研究に協力し、学生の教育実習に当たる。
所在地：鹿児島市郡元一丁目20番35号
設置年月：昭和26年5月
規模等：建物6,471㎡
名称：教育学部附属特別支援学校
目的：知的障害者に対して、小学校、中学校又は高等学校に準ずる教育を施すとともに、障害による学習上又は生活上の困難を克服し自立を図るために必要な知識技能を授ける。児童及び生徒の教育に関する研究に協力し、学生の教育実習に当たる。
所在地：鹿児島市下伊敷一丁目10番1号
設置年月：昭和55年4月
規模等：建物3,538㎡
名称：教育学部附属教育実践総合センター
目的：教育実践及び教育臨床に関する理論的かつ実践的な研究並びに教育を総合的にを行い、教育学部の研究教育の充実に寄与するとともに、他の教育機関及び地域社会と連携を図り、その教育研究活動を支援する。
所在地：鹿児島市郡元一丁目20番6号
設置年月：平成14年4月
規模等：建物529㎡
名称：農学部附属農場
目的：フィールド農学に関する実習教育並びに農学理論の総合化、実用化に関する試験研究及び地域貢献
所在地：鹿児島市郡元一丁目21番24号
設置年月：昭和24年5月
規模等：土地146,524㎡、建物5,118㎡
名称：農学部附属高隈演習林
目的：森林や自然環境に関するさまざまな研究・実習
所在地：垂水市海潟3237
設置年月：昭和24年5月
規模等：土地30,598,349㎡、建物1,530㎡
名称：農学部附属焼酎・発酵学教育研究センター
目的：焼酎学及び発酵学分野の教育・研究拠点として広く焼酎・発酵産業へ寄与するとともに、鹿児島の誇る焼酎文化の継承発展に貢献する。
所在地：鹿児島市郡元一丁目21番24号
設置年月：平成23年4月
規模等：建物428㎡
名称：水産学部附属練習船かごしま丸
目的：水産系の高度洋上技術者や航海士の育成
所在地：鹿児島市
設置年月：平成24年3月
規模等：総トン数935トン
名称：水産学部附属練習船南星丸
目的：水産系の高度洋上技術者や航海士の育成
所在地：鹿児島市
設置年月：平成14年11月
規模等：総トン数175トン
名称：水産学部附属海洋資源環境教育研究センター
目的：沿岸域を対象とし、教育・研究における実習教育及び調査をフィールドワークの面から補完し強化するとともに、沿岸域における諸問題の解決に向けた研究を実施し、地域社会及び国際社会に貢献する。
所在地：鹿児島市下荒田四丁目50番20号
設置年月：平成12年4月
規模等：水産学部6号館の一部を使用
名称：共同獣医学部附属動物病院
目的：動物の診療及び臨床実習を通じた獣医学の教育研究
所在地：鹿児島市郡元一丁目21番24号
設置年月：平成24年4月
規模等：建物4,681㎡

附属施設の概要

<p>名 称：共同獣医学部附属越境性動物疾病制御研究センター 目 的：我が国における畜産動物等を口蹄疫等の越境性動物疾病の脅威から守ること 所 在 地：鹿児島市郡元一丁目21番24号 設置年月：平成24年4月 規 模 等：共同利用棟の一部を使用</p>
<p>名 称：共同獣医学部附属南九州畜産獣医学教育研究センター 目 的：動物の福祉・健康の適正な維持管理、農場衛生・経営に関するコンサルテーション及び地域獣医療の高度化等による畜産獣医学の教育研究と地域の活性化への貢献、地域及び畜産業界と一体化した牧場活用によるイノベーションの創出 所 在 地：鹿児島県曾於市財部町南俣1343 設置年月：令和5年9月 規 模 等：土地1,458,010㎡、建物6,268㎡(曾於市借用建物面積含む)</p>
<p>名 称：理工学研究科附属天の川銀河研究センター 目 的：天の川銀河研究において、天文学上の諸問題を追究する研究活動の支援、観測限界を突破するための観測技術開発活動の支援、自然現象の追究の過程で修得する優れた問題解決能力を持つ科学者・技術者・教育者の育成、一般市民を対象とした自然科学の広報普及等の支援 所 在 地：鹿児島市郡元一丁目21番35号 設置年月：平成31年1月 規 模 等：理学部1号館の一部を使用</p>
<p>名 称：理工学研究科附属南西島弧地震火山観測所 目 的：地震及び火山に関する観測、調査及び研究並びにこれに基づく地震予知及び噴火予知に関する基礎的研究、学生の固体地球科学に関する実習 所 在 地：鹿児島市吉野町10861 設置年月：令和4年4月 規 模 等：敷地 300,855㎡(吉野2団地面積) 建物 464㎡</p>
<p>名 称：医歯学総合研究科附属南九州先端医療開発センター 目 的：医歯学総合研究科の基礎研究で創出される創薬・医療機器・再生医療等製品等のシーズを、実用化(産業化)まで切れ目なく研究開発を進める。 所 在 地：鹿児島市桜ヶ丘八丁目35番1号 設置年月：平成30年4月 規 模 等：医歯学総合研究科棟2(基礎医学系)の一部を使用</p>

国立大学法人鹿児島大学 設置申請等に関わる組織の移行表

令和6年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	令和7年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	変更の事由
鹿児島大学				鹿児島大学				
法文学部				法文学部				
法経社会学科	245	3年次 10	1,000	法経社会学科	245	3年次 10	1,000	
人文学科	165	3年次 10	680	人文学科	165	3年次 10	680	
教育学部				教育学部				
学校教育教員養成課程	190	3年次 5	770	学校教育教員養成課程	190	3年次 5	770	
理学部				理学部				
理学科	185		740	理学科	185		740	
医学部				医学部				
医学科	110	2年次 10	610	医学科	<u>90</u>	2年次 10	<u>590</u>	定員変更(△20※臨時増分)
保健学科	120		480	保健学科	120		480	
歯学部				歯学部				
歯学科	53		318	歯学科	53		318	
工学部				工学部				
先進工学科	385	3年次 17	1,574	先進工学科	385	3年次 17	1,574	
建築学科	55	3年次 3	226	建築学科	55	3年次 3	226	
農学部				農学部				
農学科	175	3年次 5	710	農学科	175	3年次 5	710	
水産学部				水産学部				
水産学科	140		560	水産学科	140		560	
共同獣医学部				共同獣医学部				
共同獣医学科	30		180	共同獣医学科	30		180	
畜産学科	30		120	畜産学科	30		120	
計	1,883	2年次 10 3年次 50	7,968	計	<u>1,863</u>	2年次 10 3年次 50	<u>7,948</u>	
鹿児島大学大学院				鹿児島大学大学院				
人文社会科学研究科				人文社会科学研究科				
法学専攻(M)	5		10	法学専攻(M)	5		10	
経済社会システム専攻(M)	10		20	経済社会システム専攻(M)	10		20	
人間環境文化論専攻(M)	5		10	人間環境文化論専攻(M)	5		10	
国際総合文化論専攻(M)	8		16	国際総合文化論専攻(M)	8		16	
地域政策科学専攻(D)	6		18	地域政策科学専攻(D)	6		18	
教育学研究科				教育学研究科				
学校教育実践高度化専攻(P)	20		40	学校教育実践高度化専攻(P)	20		40	
保健学研究科				保健学研究科				
保健学専攻(M)	22		44	保健学専攻(M)	22		44	
保健学専攻(D)	6		18	保健学専攻(D)	6		18	

理工学研究科			理工学研究科			
理学専攻(M)	64	128	理学専攻(M)	<u>54</u>	<u>108</u>	定員変更(△10)
工学専攻(M)	237	474	工学専攻(M)	<u>178</u>	<u>356</u>	定員変更(△59)
			<u>情報科学専攻(M)</u>	<u>74</u>	<u>148</u>	研究科の専攻の設置 (事前相談)
総合理工学専攻(D)	24	72	総合理工学専攻(D)	<u>16</u>	<u>48</u>	定員変更(△8)(概算要求)
農林水産学研究科			農林水産学研究科			
農林資源科学専攻(M)	39	78	農林資源科学専攻(M)	39	78	
食品創成科学専攻(M)	26	52	食品創成科学専攻(M)	26	52	
環境フィールド科学専攻(M)	16	32	環境フィールド科学専攻(M)	16	32	
水産資源科学専攻(M)	20	40	水産資源科学専攻(M)	20	40	
医歯学総合研究科			医歯学総合研究科			
医科学専攻(M)	15	30	医科学専攻(M)	15	30	
健康科学専攻(D)	19	76	健康科学専攻(D)	19	76	
先進治療科学専攻(D)	31	124	先進治療科学専攻(D)	31	124	
臨床心理学研究科			臨床心理学研究科			
臨床心理学専攻(P)	15	30	臨床心理学専攻(P)	15	30	
共同獣医学研究科			共同獣医学研究科			
獣医学専攻(D)	6	24	獣医学専攻(D)	<u>8</u>	<u>32</u>	定員変更(2)(概算要求)
連合農学研究科			連合農学研究科			
生物生産科学専攻(D)	7	21		<u>0</u>	<u>0</u>	令和7年4月学生募集停止
応用生命科学専攻(D)	8	24		<u>0</u>	<u>0</u>	令和7年4月学生募集停止
農水圏資源環境科学専攻(D)	8	24		<u>0</u>	<u>0</u>	令和7年4月学生募集停止
			<u>農水生命科学専攻(D)</u>	<u>30</u>	<u>90</u>	研究科の専攻の設置 (事前相談)
計	617	1,405	計	<u>623</u>	<u>1,420</u>	

教育課程等の概要																
(連合農学研究科 農水生命科学専攻)																
科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置					備考	
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		基幹教員以外を除く教員
必修科目	掘り下げる専門知識を得る 得る際の実験的視点の知識を得る	学位論文研究（農学、水産学、学術）	1・2・3通	/	6				○		79	43	1			共同 共同 オムニバス・メディア オムニバス
		データ解析演習（農学、水産学、学術）	1～2通	/	1				○		79	43	1			
		農水生命科学特論	1前・2後	/	1				○		8					
		農学特別講義	1・2後	/	2				○		1				4	
小計（4科目）				—	—	10	0	0	—	—	79	43	1	0	0	4
選択必修科目	得る際の実験的視点の知識を得る	農学共通講義Ⅰ	1・2・3前	/		1			○		3					10
		農学共通講義Ⅱ	1・2・3後	/		1			○		3					10
		洋上セミナー	1・2・3後	/		1				○	1					
		小計（3科目）				—	—	0	3	0	—	—	6	0	0	0
目録	キャリア開発科	キャリア開発特論	1・2・3前	/		1			○		1					8
		研究インターンシップ	1～3通	/		1				○	1					
		大学教育インターンシップ	1～3通	/		1				○	1					
		小計（3科目）				—	—	0	3	0	—	—	1	0	0	0
合計（10科目）				—	—	10	6	0	—	—	79	43	1	0	0	32
学位又は称号		博士（農学），博士（水産学），博士（学術）			学位又は学科の分野			農学関係								
卒業・修了要件及び履修方法										授業期間等						
必修科目10単位、選択必修科目のうち、学際的な視点の知識を得る科目1単位、キャリア開発科目1単位の計12単位を修得し、学位論文及び最終試験に合格すること。なお、学際的な視点の知識を得る科目区分から1単位を、キャリア開発科目区分から1単位を選択必修とする。 必修科目の「学位論文研究」及び「データ解析演習」については、学位の種別に即した研究指導とデータ解析法を履修する。博士（農学）を目指す場合は、「学位論文研究（農学）」及び「データ解析演習（農学）」を履修し、博士（水産学）を目指す場合は、「学位論文研究（水産学）」及び「データ解析演習（水産学）」を履修し、博士（学術）を目指す場合は、「学位論文研究（学術）」及び「データ解析演習（学術）」を履修する。										1学年の学期区分			2期			
										1学期の授業期間			15週			
										1時限の授業の標準時間			90分			

教育課程等の概要																
(連合農学研究科 農水生命科学専攻)																
科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹教員以外(の教員)	
必修科目	学位論文研究 (農学、水産学、学術)	1・2・3通		6				○			35	22				共同 共同 オムニバス・メディア オムニバス
	データ解析演習 (農学、水産学、学術)	1～2通		1				○			35	22				
	農水生命科学特論	1前・2後		1			○				8					
	農学特別講義	1・2後		2			○				1				4	
	小計 (4科目)	—		10				—			40	22	0	0	0	4
選択必修科目	農学共通講義 I	1・2・3前			1		○				3					10
	農学共通講義 II	1・2・3後			1		○				3					10
	洋上セミナー	1・2・3後			1				○		1					
	小計 (3科目)	—			3			—			6	0	0	0	0	20
目次	キャリア開発特論	1・2・3前			1		○				1					8
	研究インターンシップ	1～3通			1				○		1					
	大学教育インターンシップ	1～3通			1				○		1					
	小計 (3科目)	—	—		3			—			1	0	0	0	0	8
合計 (10科目)		—	—	10	6	0		—			40	22	0	0	0	32
学位又は称号		博士 (農学), 博士 (水産学), 博士 (学術)			学位又は学科の分野			農学関係								
卒業・修了要件及び履修方法									授業期間等							
必修科目10単位、選択必修科目のうち、学際的な視点の知識を得る科目1単位、キャリア開発科目1単位の計12単位を修得し、学位論文及び最終試験に合格すること。なお、学際的な視点の知識を得る科目区分から1単位を、キャリア開発科目区分から1単位を選択必修とする。 必修科目の「学位論文研究」及び「データ解析演習」については、学位の種別に即した研究指導とデータ解析法を履修する。博士 (農学) を目指す場合は、「学位論文研究 (農学)」及び「データ解析演習 (農学)」を履修し、博士 (水産学) を目指す場合は、「学位論文研究 (水産学)」及び「データ解析演習 (水産学)」を履修し、博士 (学術) を目指す場合は、「学位論文研究 (学術)」及び「データ解析演習 (学術)」を履修する。									1 学年の学期区分			2 期				
									1 学期の授業期間			15 週				
									1 時限の授業の標準時間			90 分				

教 育 課 程 等 の 概 要																
(連合農学研究科 農水生命科学専攻)																
科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹教員以外(の教員)	
必修科目	学位論文研究(農学、水産学、学術)	1・2・3通		6				○			19	13	1			共同 共同 オムニバス・メディア オムニバス
	データ解析演習(農学、水産学、学術)	1～2通		1				○			19	13	1			
	農水生命科学特論	1前・2後		1			○				8					
	農学特別講義	1・2後		2			○				1				4	
	小計(4科目)	—		10				—			25	13	1	0	0	4
選択必修科目	農学共通講義Ⅰ	1・2・3前			1		○				3					10
	農学共通講義Ⅱ	1・2・3後			1		○				3					10
	洋上セミナー	1・2・3後			1				○		1					
	小計(3科目)	—			3			—			6	0	0	0	0	20
目次	キャリア開発特論	1・2・3前			1		○				1					8
	研究インターンシップ	1～3通			1				○		1					
	大学教育インターンシップ	1～3通			1				○		1					
	小計(3科目)	—	—		3			—			1	0	0	0	0	8
合計(10科目)		—	—	10	6	0		—			26	13	1	0	0	32
学位又は称号		博士(農学), 博士(水産学), 博士(学術)			学位又は学科の分野			農学関係								
卒業・修了要件及び履修方法									授業期間等							
必修科目10単位, 選択必修科目のうち、学際的な視点の知識を得る科目1単位, キャリア開発科目1単位の計12単位を修得し、学位論文及び最終試験に合格すること。なお、学際的な視点の知識を得る科目区分から1単位を、キャリア開発科目区分から1単位を選択必修とする。 必修科目の「学位論文研究」及び「データ解析演習」については、学位の種別に即した研究指導とデータ解析法を履修する。博士(農学)を目指す場合は、「学位論文研究(農学)」及び「データ解析演習(農学)」を履修し、博士(水産学)を目指す場合は、「学位論文研究(水産学)」及び「データ解析演習(水産学)」を履修し、博士(学術)を目指す場合は、「学位論文研究(学術)」及び「データ解析演習(学術)」を履修する。									1学年の学期区分			2期				
									1学期の授業期間			15週				
									1時限の授業の標準時間			90分				

教育課程等の概要																
(連合農学研究科 農水生命科学専攻)																
科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹教員以外(助手を除く)の教員	
必修科目	学位論文研究(農学、水産学、学術)	1・2・3通		6				○			25	8				共同 共同 オムニバス・メディア オムニバス
	データ解析演習(農学、水産学、学術)	1~2通		1				○			25	8				
	農水生命科学特論	1前・2後		1			○				8					
	農学特別講義	1・2後		2			○				1				4	
	小計(4科目)	—		10				—			32	8	0	0	0	4
選択必修科目	農学共通講義Ⅰ	1・2・3前			1		○				3					10
	農学共通講義Ⅱ	1・2・3後			1		○				3					10
	洋上セミナー	1・2・3後			1				○		1					
	小計(3科目)	—			3			—			6	0	0	0	0	20
目次	キャリア開発特論	1・2・3前			1		○				1					8
	研究インターンシップ	1~3通			1				○		1					
	大学教育インターンシップ	1~3通			1				○		1					
	小計(3科目)	—	—		3			—			1	0	0	0	0	8
合計(10科目)		—	—	10	6	0		—			33	8	0	0	0	32
学位又は称号		博士(農学), 博士(水産学), 博士(学術)			学位又は学科の分野			農学関係								
卒業・修了要件及び履修方法									授業期間等							
必修科目10単位, 選択必修科目のうち、学際的な視点の知識を得る科目1単位, キャリア開発科目1単位の計12単位を修得し、学位論文及び最終試験に合格すること。なお、学際的な視点の知識を得る科目区分から1単位を、キャリア開発科目区分から1単位を選択必修とする。 必修科目の「学位論文研究」及び「データ解析演習」については、学位の種別に即した研究指導とデータ解析法を履修する。博士(農学)を目指す場合は、「学位論文研究(農学)」及び「データ解析演習(農学)」を履修し、博士(水産学)を目指す場合は、「学位論文研究(水産学)」及び「データ解析演習(水産学)」を履修し、博士(学術)を目指す場合は、「学位論文研究(学術)」及び「データ解析演習(学術)」を履修する。									1学年の学期区分			2期				
									1学期の授業期間			15週				
									1時限の授業の標準時間			90分				

教 育 課 程 等 の 概 要																
【既設】（連合農学研究科 生物生産科学専攻）																
科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置					備考	
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		基幹（助手を除く）教員
必修科目	農学特別講義（一般セミナー）	1・2後	/	2			○			1					4	オムニバス 共同 共同 共同 共同 共同
	熱帯資源・植物生産科学特別演習	1～2通	/	2				○		13	4	1				
	動物資源生産科学特別演習	1～2通	/	2				○		3	3					
	地域・国際資源経済学特別演習	1～2通	/	2				○		8	4					
	熱帯資源・植物生産科学特別研究	1・2・3通	/	6				○		13	4	1				
	動物資源生産科学特別研究	1・2・3通	/	6				○		3	3					
	地域・国際資源経済学特別研究	1・2・3通	/	6				○		8	4					
小計（7科目）		—	—	26	0	0	—	—	24	11	1	0	0	4		
目基礎科	生物生産科学基礎特論（日本語・英語）	1前	/		0.5		○			4						オムニバス・メディア
	小計（1科目）	—	—	0	0.5	0	—	—	4	0	0	0	0	0		
目発展科	生物生産科学特論（英語）	2後	/		0.5		○			4						オムニバス・メディア
	小計（1科目）	—	—	0	0.5	0	—	—	4	0	0	0	0	0		
共通科目	農学共通講義Ⅰ（日本語）	1・2・3前	/		0.5		○			3					10	オムニバス・メディア オムニバス・メディア オムニバス・メディア オムニバス・メディア
	農学共通講義Ⅱ（英語）	1・2・3後	/		0.5		○			3					10	
	人材養成学生支援セミナーⅠ	1・2・3前	/		0.5		○			1					4	
	人材養成学生支援セミナーⅡ	1・2・3後	/		1			○		1						
	国際農学特論（英語）	2・3後	/		0.5		○			1					4	
小計（5科目）	—	—	—	0	3	0	—	—	2	0	0	0	0	28		
合計（14科目）		—	—	26	4	0	—	—	26	11	1	0	0	32		
学位又は称号		博士（農学），博士（水産学），博士（学術）			学位又は学科の分野			農学関係								
卒業・修了要件及び履修方法									授業期間等							
必修科目10単位、基礎科目0.5単位、発展科目0.5単位、共通科目1単位の計12単位を修得し、学位論文及び最終試験に合格すること。 必修科目の「特別演習」「特別研究」は、所属する連合講座の科目を必修とする。									1学年の学期区分			2期				
									1学期の授業期間			15週				
									1時限の授業の標準時間			90分				

教 育 課 程 等 の 概 要																	
【既設】（連合農学研究科 生物生産科学専攻）																	
科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置					備考		
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		基幹教員以外を除く	
必修科目	農学特別講義（一般セミナー）	1・2後		2			○			1						4	オムニバス 共同 共同 共同 共同 共同 共同
	熱帯資源・植物生産科学特別演習	1～2通		2				○		4							
	動物資源生産科学特別演習	1～2通		2				○		1	2						
	地域・国際資源経済学特別演習	1～2通		2				○		4	2						
	熱帯資源・植物生産科学特別研究	1・2・3通		6				○		4							
	動物資源生産科学特別研究	1・2・3通		6				○		1	2						
	地域・国際資源経済学特別研究	1・2・3通		6				○		4	2						
小計（7科目）		—	—	26			—		10	2	0	0	0	0	4		
目基礎科	生物生産科学基礎特論（日本語・英語）	1前			0.5		○			4							オムニバス・メディア
	小計（1科目）	—	—		0.5		—		4	0	0	0	0	0	0		
目発展科	生物生産科学特論（英語）	2後			0.5		○			4							オムニバス・メディア
	小計（1科目）	—	—		0.5		—		4	0	0	0	0	0	0		
共通科目	農学共通講義Ⅰ（日本語）	1・2・3前			0.5		○			1						10	オムニバス・メディア オムニバス・メディア オムニバス・メディア オムニバス・メディア オムニバス・メディア
	農学共通講義Ⅱ（英語）	1・2・3後			0.5		○			1						10	
	人材養成学生支援セミナーⅠ	1・2・3前			0.5		○			1						4	
	人材養成学生支援セミナーⅡ	1・2・3後			1			○		1							
	国際農学特論（英語）	2・3後			0.5		○			1						4	
小計（5科目）	—	—	—	3		—			2	0	0	0	0	0	28		
合計（14科目）		—	—	26	4		—			11	2	0	0	0	0	32	
学位又は称号		博士（農学），博士（水産学），博士（学術）			学位又は学科の分野			農学関係									
卒業・修了要件及び履修方法									授業期間等								
必修科目10単位、基礎科目0.5単位、発展科目0.5単位、共通科目1単位の計12単位を修得し、学位論文及び最終試験に合格すること。 必修科目の「特別演習」「特別研究」は、所属する連合講座の科目を必修とする。									1学年の学期区分				2期				
									1学期の授業期間				15週				
									1時限の授業の標準時間				90分				

教 育 課 程 等 の 概 要																
【既設】（連合農学研究科 生物生産科学専攻）																
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	主要授 業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考
				必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	基 幹 教 員 （ 助 手 以 外 の 教 員	
必修 科目	農学特別講義（一般セミナー）	1・2後		2			○			1					4	オムニバス 共同 共同 共同 共同 共同 共同
	熱帯資源・植物生産科学特別演習	1～2通		2				○		5	4	1				
	動物資源生産科学特別演習	1～2通		2				○			1					
	地域・国際資源経済学特別演習	1～2通		2				○		1	1					
	熱帯資源・植物生産科学特別研究	1・2・3通		6				○		5	4	1				
	動物資源生産科学特別研究	1・2・3通		6				○			1					
	地域・国際資源経済学特別研究	1・2・3通		6				○		1	1					
小計（7科目）		—	—	26			—		7	6	1	0	0	4		
目基礎 科	生物生産科学基礎特論（日本語・英語）	1前			0.5		○			4						オムニバス・メディア
	小計（1科目）	—	—		0.5		—		4	0	0	0	0	0		
目発展 科	生物生産科学特論（英語）	2後			0.5		○			4						オムニバス・メディア
	小計（1科目）	—	—		0.5		—		4	0	0	0	0	0		
共通 科目	農学共通講義Ⅰ（日本語）	1・2・3前			0.5		○			1					10	オムニバス・メディア オムニバス・メディア オムニバス・メディア オムニバス・メディア オムニバス・メディア
	農学共通講義Ⅱ（英語）	1・2・3後			0.5		○			1					10	
	人材養成学生支援セミナーⅠ	1・2・3前			0.5		○			1					4	
	人材養成学生支援セミナーⅡ	1・2・3後			1			○		1						
	国際農学特論（英語）	2・3後			0.5		○			1					4	
小計（5科目）		—	—		3		—		2	0	0	0	0	28		
合計（14科目）		—	—	26	4		—		8	6	1	0	0	32		
学位又は称号		博士（農学），博士（水産学）， 博士（学術）			学位又は学科の分野			農学関係								
卒業・修了要件及び履修方法									授業期間等							
必修科目10単位、基礎科目0.5単位、発展科目0.5単位、共通科目1単位の計12単位を修得し、学位論文及び最終試験に合格すること。 必修科目の「特別演習」「特別研究」は、所属する連合講座の科目を必修とする。									1学年の学期区分			2期				
									1学期の授業期間			15週				
									1時限の授業の標準時間			90分				

教 育 課 程 等 の 概 要																
【既設】（連合農学研究科 生物生産科学専攻）																
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	主要授 業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考
				必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実 習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	基 幹 教 員 以 外 の 教 員 (助手を除く)	
必修 科目	農学特別講義（一般セミナー）	1・2後		2			○			1					4	オムニバス 共同 共同 共同 共同 共同 共同
	熱帯資源・植物生産科学特別演習	1～2通		2				○		4						
	動物資源生産科学特別演習	1～2通		2				○		2						
	地域・国際資源経済学特別演習	1～2通		2				○		3	1					
	熱帯資源・植物生産科学特別研究	1・2・3通		6				○		4						
	動物資源生産科学特別研究	1・2・3通		6				○		2						
	地域・国際資源経済学特別研究	1・2・3通		6				○		3	1					
	小計（7科目）	—	—	—	26			—		10	1	0	0	0	4	
目 基 礎 科	生物生産科学基礎特論（日本語・英語）	1前			0.5		○			4						オムニバス・メディア
	小計（1科目）	—	—	—	0.5		—		4	0	0	0	0	0		
目 発 展 科	生物生産科学特論（英語）	2後			0.5		○			4						オムニバス・メディア
	小計（1科目）	—	—	—	0.5		—		4	0	0	0	0	0		
共 通 科 目	農学共通講義Ⅰ（日本語）	1・2・3前			0.5		○			1					10	オムニバス・メディア オムニバス・メディア オムニバス・メディア オムニバス・メディア オムニバス・メディア
	農学共通講義Ⅱ（英語）	1・2・3後			0.5		○			1					10	
	人材養成学生支援セミナーⅠ	1・2・3前			0.5		○			1					4	
	人材養成学生支援セミナーⅡ	1・2・3後			1			○		1						
	国際農学特論（英語）	2・3後			0.5		○			1					4	
	小計（5科目）	—	—	—	3		—		2	0	0	0	0	0	28	
合計（14科目）		—	—	26	4		—		11	1	0	0	0	32		
学位又は称号	博士（農学），博士（水産学）， 博士（学術）			学位又は学科の分野				農学関係								
卒 業 ・ 修 了 要 件 及 び 履 修 方 法									授 業 期 間 等							
必修科目10単位、基礎科目0.5単位、発展科目0.5単位、共通科目1単位の計12単位を修得し、学位論文及び最終試験に合格すること。 必修科目の「特別演習」「特別研究」は、所属する連合講座の科目を必修とする。									1学年の学期区分				2期			
									1学期の授業期間				15週			
									1時限の授業の標準時間				90分			

教 育 課 程 等 の 概 要																	
【既設】（連合農学研究科 応用生命科学専攻）																	
科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置					備考		
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		基幹（助手を除く）教員	
必修科目	農学特別講義（一般セミナー）	1・2後	/	2			○			1						4	オムニバス 共同 共同 共同 共同 共同 共同
	生物機能化学特別演習	1～2通	/	2				○		8	7						
	食品機能科学特別演習	1～2通	/	2				○		8	4						
	先端応用生命科学特別演習	1～2通	/	2				○		11	6						
	生物機能化学特別研究	1・2・3通	/	6				○		8	7						
	食品機能科学特別研究	1・2・3通	/	6				○		8	4						
	先端応用生命科学特別研究	1・2・3通	/	6				○		11	6						
	小計（7科目）	—	—	—	26	0	0	—	—	—	28	17	0	0	0	0	
科基礎	応用生命科学基礎特論（日本語・英語）	1前	/		0.5		○			4							オムニバス・メディア
	小計（1科目）	—	—	—	0	0.5	0	—	—	4	0	0	0	0	0	0	
科発展	応用生命科学特論（英語）	2後	/		0.5		○			4							オムニバス・メディア
	小計（1科目）	—	—	—	0	0.5	0	—	—	4	0	0	0	0	0	0	
共通科目	農学共通講義Ⅰ（日本語）	1・2・3前	/		0.5		○			1						10	オムニバス・メディア オムニバス・メディア オムニバス・メディア オムニバス・メディア オムニバス・メディア
	農学共通講義Ⅱ（英語）	1・2・3後	/		0.5		○			1						10	
	人材養成学生支援セミナーⅠ	1・2・3前	/		0.5		○			1						4	
	人材養成学生支援セミナーⅡ	1・2・3後	/		1			○		1						1	
	国際農学特論（英語）	2・3後	/		0.5		○			1						4	
小計（5科目）	—	—	—	0	3	0	—	—	—	2	0	0	0	0	0	28	
合計（14科目）				—	—	—	—	—	—	29	17	0	0	0	0	32	
学位又は称号	博士（農学），博士（水産学），博士（学術）			学位又は学科の分野				農学関係									
卒業・修了要件及び履修方法										授業期間等							
必修科目10単位、基礎科目0.5単位、発展科目0.5単位、共通科目1単位の計12単位を修得し、学位論文及び最終試験に合格すること。 必修科目の「特別演習」「特別研究」は、所属する連合講座の科目を必修とする。										1学年の学期区分			2期				
										1学期の授業期間			15週				
										1時限の授業の標準時間			90分				

教育課程等の概要																
【既設】(連合農学研究科 応用生命科学専攻)																
科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置					備考	
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		基幹教員以外 の教員 (助手を除く)
必修科目	農学特別講義(一般セミナー)	1・2後		2			○			1					4	オムニバス 共同 共同 共同 共同 共同 共同
	生物機能化学特別演習	1~2通		2				○		2	5					
	食品機能科学特別演習	1~2通		2				○		4	1					
	先端応用生命科学特別演習	1~2通		2				○		5	1					
	生物機能化学特別研究	1・2・3通		6				○		2	5					
	食品機能科学特別研究	1・2・3通		6				○		4	1					
	先端応用生命科学特別研究	1・2・3通		6				○		5	1					
	小計(7科目)	—	—	—	26			—		12	7	0	0	0	4	
科基礎	応用生命科学基礎特論(日本語・英語)	1前			0.5		○			4						オムニバス・メディア
	小計(1科目)	—	—	—	0.5		—		4	0	0	0	0	0		
科発目展	応用生命科学特論(英語)	2後			0.5		○			4						オムニバス・メディア
	小計(1科目)	—	—	—	0.5		—		4	0	0	0	0	0		
共通科目	農学共通講義Ⅰ(日本語)	1・2・3前			0.5		○			1					10	オムニバス・メディア オムニバス・メディア オムニバス・メディア オムニバス・メディア オムニバス・メディア
	農学共通講義Ⅱ(英語)	1・2・3後			0.5		○			1					10	
	人材養成学生支援セミナーⅠ	1・2・3前			0.5		○			1					4	
	人材養成学生支援セミナーⅡ	1・2・3後			1			○		1						
	国際農学特論(英語)	2・3後			0.5		○			1					4	
小計(5科目)	—	—	—	3			—		2	0	0	0	0	28		
合計(14科目)		—	—	26	4		—		13	7	0	0	0	32		
学位又は称号			博士(農学), 博士(水産学), 博士(学術)			学位又は学科の分野			農学関係							
卒業・修了要件及び履修方法									授業期間等							
必修科目10単位、基礎科目0.5単位、発展科目0.5単位、共通科目1単位の計12単位を修得し、学位論文及び最終試験に合格すること。 必修科目の「特別演習」「特別研究」は、所属する連合講座の科目を必修とする。									1学年の学期区分			2期				
									1学期の授業期間			15週				
									1時限の授業の標準時間			90分				

教育課程等の概要																
【既設】(連合農学研究科 応用生命科学専攻)																
科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置					備考	
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		基幹教員以外 の教員 (助手を除く)
必修科目	農学特別講義(一般セミナー)	1・2後		2			○			1					4	オムニバス 共同 共同 共同 共同 共同 共同
	生物機能化学特別演習	1~2通		2				○		3	1					
	食品機能科学特別演習	1~2通		2				○		2	1					
	先端応用生命科学特別演習	1~2通		2				○		3	3					
	生物機能化学特別研究	1・2・3通		6				○		3	1					
	食品機能科学特別研究	1・2・3通		6				○		2	1					
	先端応用生命科学特別研究	1・2・3通		6				○		3	3					
	小計(7科目)	—	—	—	26			—		9	5	0	0	0	4	
基礎科目	応用生命科学基礎特論(日本語・英語)	1前			0.5		○			4						オムニバス・メディア
	小計(1科目)	—	—	—	0.5		—		4	0	0	0	0	0		
発展科目	応用生命科学特論(英語)	2後			0.5		○			4						オムニバス・メディア
	小計(1科目)	—	—	—	0.5		—		4	0	0	0	0	0		
共通科目	農学共通講義Ⅰ(日本語)	1・2・3前			0.5		○			1					10	オムニバス・メディア オムニバス・メディア オムニバス・メディア オムニバス・メディア オムニバス・メディア
	農学共通講義Ⅱ(英語)	1・2・3後			0.5		○			1					10	
	人材養成学生支援セミナーⅠ	1・2・3前			0.5		○			1					4	
	人材養成学生支援セミナーⅡ	1・2・3後			1			○		1						
	国際農学特論(英語)	2・3後			0.5		○			1					4	
小計(5科目)	—	—	—	3			—		2	0	0	0	0	28		
合計(14科目)		—	—	26	4		—		10	5	0	0	0	32		
学位又は称号			博士(農学), 博士(水産学), 博士(学術)			学位又は学科の分野			農学関係							
卒業・修了要件及び履修方法									授業期間等							
必修科目10単位、基礎科目0.5単位、発展科目0.5単位、共通科目1単位の計12単位を修得し、学位論文及び最終試験に合格すること。 必修科目の「特別演習」「特別研究」は、所属する連合講座の科目を必修とする。									1学年の学期区分			2期				
									1学期の授業期間			15週				
									1時限の授業の標準時間			90分				

教育課程等の概要																
【既設】(連合農学研究科 応用生命科学専攻)																
科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置					備考	
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		基幹教員以外 の教員 (助手を除く)
必修科目	農学特別講義(一般セミナー)	1・2後		2			○			1					4	オムニバス 共同 共同 共同 共同 共同 共同
	生物機能化学特別演習	1~2通		2				○		3	1					
	食品機能科学特別演習	1~2通		2				○		2	2					
	先端応用生命科学特別演習	1~2通		2				○		3	2					
	生物機能化学特別研究	1・2・3通		6				○		3	1					
	食品機能科学特別研究	1・2・3通		6				○		2	2					
	先端応用生命科学特別研究	1・2・3通		6				○		3	2					
	小計(7科目)	—	—	—	26			—		9	5	0	0	0	4	
科基礎	応用生命科学基礎特論(日本語・英語)	1前			0.5		○			4						オムニバス・メディア
	小計(1科目)	—	—	—	0.5		—		4	0	0	0	0	0		
科発目展	応用生命科学特論(英語)	2後			0.5		○			4						オムニバス・メディア
	小計(1科目)	—	—	—	0.5		—		4	0	0	0	0	0		
共通科目	農学共通講義Ⅰ(日本語)	1・2・3前			0.5		○			1					10	オムニバス・メディア オムニバス・メディア オムニバス・メディア オムニバス・メディア オムニバス・メディア
	農学共通講義Ⅱ(英語)	1・2・3後			0.5		○			1					10	
	人材養成学生支援セミナーⅠ	1・2・3前			0.5		○			1					4	
	人材養成学生支援セミナーⅡ	1・2・3後			1			○		1						
	国際農学特論(英語)	2・3後			0.5		○			1					4	
小計(5科目)	—	—	—	3			—		2	0	0	0	0	28		
合計(14科目)		—	—	26	4		—		10	5	0	0	0	32		
学位又は称号		博士(農学), 博士(水産学), 博士(学術)			学位又は学科の分野			農学関係								
卒業・修了要件及び履修方法									授業期間等							
必修科目10単位、基礎科目0.5単位、発展科目0.5単位、共通科目1単位の計12単位を修得し、学位論文及び最終試験に合格すること。 必修科目の「特別演習」「特別研究」は、所属する連合講座の科目を必修とする。									1学年の学期区分			2期				
									1学期の授業期間			15週				
									1時限の授業の標準時間			90分				

教 育 課 程 等 の 概 要																	
【既設】（連合農学研究科 農水圏資源環境科学専攻）																	
科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置					備考		
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		基幹（助手を除く）教員	
必修科目	農学特別講義（一般セミナー）	1・2後	/	2			○			1						4	オムニバス 共同 共同 共同 共同 共同 共同
	生物環境保全科学特別演習	1～2通	/	2				○		9	9						
	地域資源環境工学特別演習	1～2通	/	2				○		9	3						
	水産資源環境科学特別演習	1～2通	/	2				○		13	4						
	生物環境保全科学特別研究	1・2・3通	/	6				○		9	9						
	地域資源環境工学特別研究	1・2・3通	/	6				○		9	3						
	水産資源環境科学特別研究	1・2・3通	/	6				○		13	4						
	小計（7科目）	—	—	—	26	0	0	—	—	31	16	0	0	0	0	4	
科基礎	農水圏資源環境科学基礎特論（日本語・英語）	1前	/		0.5		○			4							オムニバス・メディア
	小計（1科目）	—	—	0	0.5	0	—	—	4	0	0	0	0	0	0		
科発目展	農水圏資源環境科学特論（英語）	2後	/		0.5		○			4							オムニバス・メディア
	小計（1科目）	—	—	0	0.5	0	—	—	4	0	0	0	0	0	0		
共通科目	農学共通講義Ⅰ（日本語）	1・2・3前	/		0.5		○			1						10	オムニバス・メディア オムニバス・メディア オムニバス・メディア オムニバス・メディア オムニバス・メディア
	農学共通講義Ⅱ（英語）	1・2・3後	/		0.5		○			1						10	
	人材養成学生支援セミナーⅠ	1・2・3前	/		0.5		○			1						4	
	人材養成学生支援セミナーⅡ	1・2・3後	/		1			○		1						1	
	国際農学特論（英語）	2・3後	/		0.5		○			1						4	
小計（5科目）	—	—	—	0	3	0	—	—	2	0	0	0	0	0	28		
合計（14科目）				—	—	—	26	4	0	—	—	31	16	0	0	0	32
学位又は称号	博士（農学），博士（水産学）， 博士（学術）			学位又は学科の分野				農学関係									
卒業・修了要件及び履修方法										授業期間等							
必修科目10単位、基礎科目0.5単位、発展科目0.5単位、共通科目1単位の計12単位を修得し、学位論文及び最終試験に合格すること。 必修科目の「特別演習」「特別研究」は、所属する連合講座の科目を必修とする。										1学年の学期区分			2期				
										1学期の授業期間			15週				
										1時限の授業の標準時間			90分				

教育課程等の概要																
【既設】(連合農学研究科 農水圏資源環境科学専攻)																
科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置					備考	
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		基幹教員以外 の教員 (助手を除く)
必修科目	農学特別講義(一般セミナー)	1・2後		2			○			1					4	オムニバス 共同 共同 共同 共同 共同 共同
	生物環境保全科学特別演習	1~2通		2				○		2	6					
	地域資源環境工学特別演習	1~2通		2				○		1	1					
	水産資源環境科学特別演習	1~2通		2				○		13	4					
	生物環境保全科学特別研究	1・2・3通		6				○		2	6					
	地域資源環境工学特別研究	1・2・3通		6				○		1	1					
	水産資源環境科学特別研究	1・2・3通		6				○		13	4					
	小計(7科目)	—	—	—	26			—		17	11	0	0	0	4	
科基礎	農水圏資源環境科学基礎特論(日本語・英語)	1前			0.5		○			4						オムニバス・メディア
	小計(1科目)	—	—	—	0.5		—		4	0	0	0	0	0		
科発目展	農水圏資源環境科学特論(英語)	2後			0.5		○			4						オムニバス・メディア
	小計(1科目)	—	—	—	0.5		—		4	0	0	0	0	0		
共通科目	農学共通講義Ⅰ(日本語)	1・2・3前			0.5		○			1					10	オムニバス・メディア オムニバス・メディア オムニバス・メディア オムニバス・メディア オムニバス・メディア
	農学共通講義Ⅱ(英語)	1・2・3後			0.5		○			1					10	
	人材養成学生支援セミナーⅠ	1・2・3前			0.5		○			1					4	
	人材養成学生支援セミナーⅡ	1・2・3後			1			○		1						
	国際農学特論(英語)	2・3後			0.5		○			1					4	
小計(5科目)	—	—	—	3			—		2	0	0	0	0	28		
合計(14科目)		—	—	26	4		—		18	11	0	0	0	32		
学位又は称号		博士(農学), 博士(水産学), 博士(学術)			学位又は学科の分野			農学関係								
卒業・修了要件及び履修方法									授業期間等							
必修科目10単位, 基礎科目0.5単位, 発展科目0.5単位, 共通科目1単位の計12単位を修得し, 学位論文及び最終試験に合格すること。 必修科目の「特別演習」「特別研究」は, 所属する連合講座の科目を必修とする。									1学年の学期区分			2期				
									1学期の授業期間			15週				
									1時限の授業の標準時間			90分				

教育課程等の概要																
【既設】(連合農学研究科 農水圏資源環境科学専攻)																
科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置					備考	
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		基幹教員以外 の教員 (助手を除く)
必修科目	農学特別講義(一般セミナー)	1・2後		2			○			1					4	オムニバス 共同 共同 共同 共同 共同 共同
	生物環境保全科学特別演習	1~2通		2				○		3	2					
	地域資源環境工学特別演習	1~2通		2				○		3						
	水産資源環境科学特別演習	1~2通		2				○								
	生物環境保全科学特別研究	1・2・3通		6				○		3	2					
	地域資源環境工学特別研究	1・2・3通		6				○		3						
	水産資源環境科学特別研究	1・2・3通		6				○								
	小計(7科目)	—	—	26				—		7	2	0	0	0	4	
科基礎	農水圏資源環境科学基礎特論(日本語・英語)	1前			0.5		○			4						オムニバス・メディア
	小計(1科目)	—	—		0.5		—		4	0	0	0	0	0		
科発目展	農水圏資源環境科学特論(英語)	2後			0.5		○			4						オムニバス・メディア
	小計(1科目)	—	—		0.5		—		4	0	0	0	0	0		
共通科目	農学共通講義Ⅰ(日本語)	1・2・3前			0.5		○			1					10	オムニバス・メディア オムニバス・メディア オムニバス・メディア オムニバス・メディア オムニバス・メディア
	農学共通講義Ⅱ(英語)	1・2・3後			0.5		○			1					10	
	人材養成学生支援セミナーⅠ	1・2・3前			0.5		○			1					4	
	人材養成学生支援セミナーⅡ	1・2・3後			1			○		1						
	国際農学特論(英語)	2・3後			0.5		○			1					4	
小計(5科目)	—	—		3			—		2	0	0	0	0	28		
合計(14科目)		—	—	26	4			—		8	2	0	0	0	32	
学位又は称号			博士(農学), 博士(水産学), 博士(学術)			学位又は学科の分野			農学関係							
卒業・修了要件及び履修方法									授業期間等							
必修科目10単位、基礎科目0.5単位、発展科目0.5単位、共通科目1単位の計12単位を修得し、学位論文及び最終試験に合格すること。 必修科目の「特別演習」「特別研究」は、所属する連合講座の科目を必修とする。									1学年の学期区分			2期				
									1学期の授業期間			15週				
									1時限の授業の標準時間			90分				

教育課程等の概要																
【既設】(連合農学研究科 農水圏資源環境科学専攻)																
科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置					備考	
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		基幹教員以外 の教員 (助手を除く)
必修科目	農学特別講義 (一般セミナー)	1・2後		2			○			1					4	オムニバス 共同 共同 共同 共同 共同 共同
	生物環境保全科学特別演習	1~2通		2				○		4	1					
	地域資源環境工学特別演習	1~2通		2				○		5	2					
	水産資源環境科学特別演習	1~2通		2				○								
	生物環境保全科学特別研究	1・2・3通		6				○		4	1					
	地域資源環境工学特別研究	1・2・3通		6				○		5	2					
	水産資源環境科学特別研究	1・2・3通		6				○								
	小計 (7科目)	—	—	—	26			—		10	3	0	0	0	4	
科基礎	農水圏資源環境科学基礎特論 (日本語・英語)	1前			0.5		○			4						オムニバス・メディア
	小計 (1科目)	—	—	—	0.5		—		4	0	0	0	0	0		
科発目展	農水圏資源環境科学特論 (英語)	2後			0.5		○			4						オムニバス・メディア
	小計 (1科目)	—	—	—	0.5		—		4	0	0	0	0	0		
共通科目	農学共通講義 I (日本語)	1・2・3前			0.5		○			1					10	オムニバス・メディア オムニバス・メディア オムニバス・メディア オムニバス・メディア オムニバス・メディア
	農学共通講義 II (英語)	1・2・3後			0.5		○			1					10	
	人材養成学生支援セミナー I	1・2・3前			0.5		○			1					4	
	人材養成学生支援セミナー II	1・2・3後			1			○		1						
	国際農学特論 (英語)	2・3後			0.5		○			1					4	
小計 (5科目)	—	—	—	3			—		2	0	0	0	0	28		
合計 (14科目)		—	—	26	4		—		11	3	0	0	0	32		
学位又は称号			博士 (農学), 博士 (水産学), 博士 (学術)			学位又は学科の分野			農学関係							
卒業・修了要件及び履修方法									授業期間等							
必修科目10単位、基礎科目0.5単位、発展科目0.5単位、共通科目1単位の計12単位を修得し、学位論文及び最終試験に合格すること。 必修科目の「特別演習」「特別研究」は、所属する連合講座の科目を必修とする。									1 学年の学期区分			2 期				
									1 学期の授業期間			15 週				
									1 時限の授業の標準時間			90 分				

授 業 科 目 の 概 要				
(連合農学研究科 農水生命科学専攻)				
科目区分	授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
必修科目 専門知識を掘り下げる科目	学位論文研究（農学、水産学、学術）		<p>(概要) 博士としての研究能力として、研究計画立案や文献調査、目的に適した調査実験手法、研究成果の解析法を習得するために、学生の研究題目ごとに開講。研究題目の内容に沿って分野の垣根を超えて指導教団が構成される。研究題目の大まかな括りとして、博士の学位の種別（農学、水産学、学術）が選択され、教育研究を実施する。 全プログラムを対面式で実施する。 学生が作成・提出した研究立案書に基づき、主指導教員の研究指導計画に従って研究を遂行する。研究課題に関する実験や調査、解析を行い、また、研究成果の発表、学術雑誌への学術論文の投稿、専門書の著述などの実践的な研究指導を行う。</p> <p>学習目標 博士としての研究能力が得られ、学位論文に必要な研究成果が得られる。（学修時間の目安：約1時間）</p> <p>授業計画 1. 研究指導計画に従った研究の遂行 2. 研究指導計画に従った研究の遂行 3. 研究指導計画に従った研究の遂行 4. 1本目の学術論文の作成および学術雑誌への投稿 5. 審査員のコメントへの対応および1本目の学術論文の受理 6. 研究指導計画に従った研究の遂行 7. 研究指導計画に従った研究の遂行 8. 研究指導計画に従った研究の遂行 9. 2本目の学術論文の作成および学術雑誌への投稿 10. 審査員のコメントへの対応および2本目の学術論文の受理 11. 中間報告 12. 中間報告に対する講評への対応 13. 中間発表 14. 中間発表に対する講評への対応 15. 研究の完了</p> <p>(1 一色 司郎 (佐賀大学)) 園芸作物の遺伝と育種に関する研究指導を行う。</p> <p>(4 古藤田 信博 (佐賀大学)) カンキツ遺伝資源および園芸作物の生理と機能ゲノミクスに関する研究指導を行う。</p> <p>(5 後藤 文之 (佐賀大学)) 園芸施設的环境制御および園芸作物の生理に関する研究指導を行う。</p> <p>(9 鈴木 章弘 (佐賀大学)) 高等植物と微生物との共生メカニズムに関する研究指導を行う。</p> <p>(12 鄭 紹輝 (佐賀大学)) 熱帯マメ科作物の生態生理及び栽培様式に関する研究指導を行う。</p> <p>(24 上野 大介 (佐賀大学)) 匂い物質の化学分析による生産環境の改善に関する研究指導を行う。</p> <p>(31 辻田 有紀 (佐賀大学)) 花卉植物の菌根菌、生態、保全および無菌培養に関する研究指導を行う。</p> <p>(38 福田 伸二 (佐賀大学)) 果樹の遺伝と育種に関する研究指導を行う。</p> <p>(39 藤田 大輔 (佐賀大学)) 熱帯作物の遺伝及び改良に関する研究指導を行う。</p> <p>(42 山中 賢一 (佐賀大学)) 体外胚生産技術の高度化に関する研究に関する指導を行う。</p> <p>(43 渡邊 啓史 (佐賀大学)) ダイズの農業形質に関与する遺伝子座の同定と育種利用に関する研究指導を行う。</p>	共同

授 業 科 目 の 概 要				
(連合農学研究科 農水生命科学専攻)				
科目区分	授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
必修科目 専門知識を掘り下げる科目	学位論文研究（農学、水産学、学術）		<p>(44 松本 雄一 (佐賀大学)) 園芸作物の生産と利用に関する研究指導を行う。</p> <p>(46 赤嶺 光 (琉球大学)) 暖地型芝草の生理、生態と管理に関する研究指導を行う。</p> <p>(48 嬉野 健次 (琉球大学)) 園芸作物の遺伝と育種に関する研究指導を行う。</p> <p>(56 佐々木 慎二 (琉球大学)) 黒毛和種の遺伝性疾患のゲノム解析に関する研究指導を行う。</p> <p>(63 建本 秀樹 (琉球大学)) 動物生殖細胞における細胞生理ならびに人為的操作に関する研究指導を行う。</p> <p>(70 福田 普通 (琉球大学)) 熱帯・亜熱帯地域におけるイネの持続的安定生産に向けた遺伝・育種学に関する指導を行う。</p> <p>(71 モハメド アムザド ホサイン (琉球大学)) 熱帯作物生産および雑草管理に関する研究指導を行う。</p> <p>(150 安樂 和彦 (鹿児島大学)) 動物生理学と漁具漁法に関する研究指導を行う。</p> <p>(151 石川 学 (鹿児島大学)) 水棲動物における栄養素の利用と代謝に関する研究指導を行う。</p> <p>(105 一谷 勝之 (鹿児島大学)) 作物のゲノミクス・遺伝・育種に関する研究指導を行う。</p> <p>(152 宇野 誠一 (鹿児島大学)) 化学物質による環境汚染と生物影響評価に関する研究指導を行う。</p> <p>(153 大富 潤 (鹿児島大学)) 魚介類、特にエビ・カニ類と魚類の資源生態と資源管理に関する研究指導を行う。</p> <p>(154 小谷 知也 (鹿児島大学)) 増養殖対象種の種苗生産と餌料生物に関する研究指導を行う。</p> <p>(155 小針 統 (鹿児島大学)) 動物プランクトンの生理学、生産生態、生物地球化学的循環に関する研究指導を行う。</p> <p>(110 坂上 潤一 (鹿児島大学)) 熱帯・亜熱帯作物の生態と生理に関する研究指導を行う。</p> <p>(112 志水 勝好 (鹿児島大学)) 作物および有用植物の形態、生態、生理および栽培に関する研究指導を行う。</p> <p>(113 下桐 猛 (鹿児島大学)) 動物集団の分子遺伝学的手法による評価と活用に関する研究指導を行う。</p> <p>(160 寺田 竜太 (鹿児島大学)) 海藻・海産顕花植物の分類学、生理学、生態学に関する研究指導を行う。</p> <p>(161 中村 啓彦 (鹿児島大学)) 海洋力学、海洋物理観測、観測データ解析に関する研究指導を行う。</p> <p>(162 西 隆一郎 (鹿児島大学)) 沿岸域の環境モニタリングおよび予測に関する研究指導を行う。</p>	共同

授 業 科 目 の 概 要				
(連合農学研究科 農水生命科学専攻)				
科目区分	授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
必修科目	専門知識を掘り下げる科目	学位論文研究（農学、水産学、学術）	<p>(163 バズケス アーチデイル ミゲル フェデリコ (鹿児島大学)) 動物生理学と漁具／漁法に関する研究指導を行う。</p> <p>(117 三好 和隆 (鹿児島大学)) 動物における発生工学的技術の開発と応用に関する研究指導を行う。</p> <p>(164 本村 浩之 (鹿児島大学)) 魚類の分類・進化・生物地理学に関する研究指導を行う。</p> <p>(165 山本 智子 (鹿児島大学)) 底生生物の群集生態学に関する研究指導を行う。</p> <p>(118 山本 雅史 (鹿児島大学)) 果樹の遺伝、育種及び遺伝資源に関する研究指導を行う。</p> <p>(166 吉川 毅 (鹿児島大学)) 微生物による水圏環境の保全に関する研究指導を行う。</p> <p>(168 江幡 恵吾 (鹿児島大学)) 持続可能な水産業の構築に向けた漁具漁法、漁場造成に関する教育・研究に関する指導を行う。</p> <p>(125 大島 一郎 (鹿児島大学)) 持続可能な肉用家畜の生産システムに関する研究指導を行う。</p> <p>(169 奥西 将之 (鹿児島大学)) 赤潮モニタリング、赤潮防除対策、微生物を用いた環境保全に関する研究指導を行う。</p> <p>(172 久米 元 (鹿児島大学)) 魚類の生活史研究、保全生態学に関する研究指導を行う。</p> <p>(132 高山 耕二 (鹿児島大学)) 動物の行動と野生動物の管理に関する研究指導を行う。</p> <p>(175 土井 航 (鹿児島大学)) 水生無脊椎動物の資源生物学に関する研究指導を行う。</p> <p>(2 北垣 浩志 (佐賀大学)) 発酵微生物の細胞内小器官・物質代謝解析とその産業的利用に関する研究指導を行う。</p> <p>(7 小林 元太 (佐賀大学)) 有用微生物の分離とバイオマスの有効活用に関する研究指導を行う。</p> <p>(6 後藤 正利 (佐賀大学)) 糸状菌の機能解析と利用に関する研究指導を行う。</p> <p>(10 宗 伸明 (佐賀大学)) 新規な食品・生体分析法の開発、生体高分子・天然物を活用した先端材料の創出に関する研究指導を行う。</p> <p>(14 永尾 晃治 (佐賀大学)) 食品成分の栄養生理機能、生体内の糖・脂質代謝に関する研究指導を行う。</p> <p>(15 濱 洋一郎 (佐賀大学)) 複合糖質の構造と機能に関する研究指導を行う。</p> <p>(17 光武 進 (佐賀大学)) 細胞膜脂質の生理機能とその食品への応用に関する研究指導を行う。</p> <p>(26 川口 真一 (佐賀大学)) 天然資源を利用した化粧品や医薬品の開発に関する研究指導を行う。</p>	共同

授 業 科 目 の 概 要				
(連合農学研究科 農水生命科学専攻)				
科目区分	授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
必修科目 専門知識を掘り下げる科目	学位論文研究（農学、水産学、学術）		<p>(27 木村 圭 (佐賀大学)) 分子細胞生物学的アプローチによる藻類生命現象の解明に関する研究指導を行う。</p> <p>(30 辻田 忠志 (佐賀大学)) 脊椎動物における環境応答に関する分子メカニズムの解析と創薬応用に関する研究指導を行う。</p> <p>(34 永野 幸生 (佐賀大学)) 真核生物の生化学・分子生物学に関する研究指導を行う。</p> <p>(36 野間 誠司 (佐賀大学)) 食品加工プロセスの開発と改良に関する研究指導を行う。</p> <p>(47 石井 貴広 (琉球大学)) 未利用亜熱帯生物資源からの有用生物活性物質(創薬シード化合物)の探索に関する研究指導を行う。</p> <p>(51 金子 哲 (琉球大学)) 植物細胞壁多糖・海藻多糖の分解と利用に関する研究指導を行う。</p> <p>(53 小西 照子 (琉球大学)) 植物細胞壁多糖の構造と機能および生合成機能に関する研究指導を行う。</p> <p>(59 瀬尾 光範 (琉球大学)) 植物ホルモンと環境応答に関する研究指導を行う。</p> <p>(61 平良 東紀 (琉球大学)) 微生物および植物由来酵素の機能解析に関する研究指導を行う。</p> <p>(62 高良 健作 (琉球大学)) 食品の機能性評価および分析に関する研究指導を行う。</p> <p>(67 外山 博英 (琉球大学)) 有用微生物の分子生物学と微生物酵素の機能開発に関する研究指導を行う。</p> <p>(73 稲福 征志 (琉球大学)) 食資源の機能性解析とその応用に関する研究指導を行う。</p> <p>(75 岩崎 公典 (琉球大学)) 食品機能性成分の分子栄養代謝調節機構に関する研究指導を行う。</p> <p>(84 高橋 誠 (琉球大学)) 有用生物資源からの食品加工と食素材の開発に関する研究指導を行う。</p> <p>(92 水谷 治 (琉球大学)) 発酵微生物の遺伝子工学と分子育種に関する研究指導を行う。</p> <p>(94 ヨナタン アシキン (琉球大学)) 食品の美味しさおよびそのフレーバー成分の分析に関する研究指導を行う。</p> <p>(104 石橋 松二郎 (鹿児島大学)) 微生物によるタンパク質生産とタンパク質工学に関する研究指導を行う。</p> <p>(106 大塚 彰 (鹿児島大学)) 体タンパク質ならびに脂質の代謝調節に関する分子機構に関する研究指導を行う。</p> <p>(107 北原 兼文 (鹿児島大学)) 根菜類の糖質化学に関する研究指導を行う。</p> <p>(156 小松 正治 (鹿児島大学)) 水圏天然化合物・食品の機能発現機序に関する研究指導を行う。</p>	共同

授 業 科 目 の 概 要				
(連合農学研究科 農水生命科学専攻)				
科目区分	授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
必修科目	専門知識を掘り下げる科目	学位論文研究（農学、水産学、学術）	<p>(159 塩崎 一弘 (鹿児島大学)) 複合糖質の生理機能解析に関する研究指導を行う。</p> <p>(114 高峯 和則 (鹿児島大学)) 発酵食品の機能性および香気解析に関する研究指導を行う。</p> <p>(115 玉置 尚徳 (鹿児島大学)) 真核微生物の機能解析に関する研究指導を行う。</p> <p>(121 井尻 大地 (鹿児島大学)) タンパク質分解の調節機構、畜産食品の機能性評価に関する研究指導を行う。</p> <p>(127 加治屋 勝子 (鹿児島大学)) 天然物に含まれる生体調節分子の構造、機能および生物科学的応用に関する研究指導を行う。</p> <p>(140 藤田 清貴 (鹿児島大学)) 糖質分解酵素の機能解析と利用に関する研究指導を行う。</p> <p>(141 二神 泰基 (鹿児島大学)) 醸造微生物の解析と分子育種に関する研究指導を行う。</p> <p>(144 吉崎 由美子 (鹿児島大学)) 食品の特徴的香り成分の分析とその生成メカニズムの解明に関する研究指導を行う。</p> <p>(146 フェスターガード ムンデランジ キャサリン ムタンゲーイ (鹿児島大学)) 食品や農業分野等におけるバイオセンサーおよびバイオメテック技術の応用に関する研究指導を行う。</p> <p>(180 大野木 宏(タカラバイオ株式会社)) 食品資源の生物活性評価による機能性解析に関する研究指導を行う。</p> <p>(181 峰野 純一(タカラバイオ株式会社)) 細胞・遺伝子治療関連技術の産業応用に関する研究指導を行う。</p> <p>(182 榎 竜嗣(タカラバイオ株式会社)) 再生医療関連技術の産業応用に関する研究指導を行う。</p> <p>(3 草場 基章 (佐賀大学)) 植物-微生物間相互作用の分子遺伝学的解析に関する研究指導を行う。</p> <p>(8 近藤 文義 (佐賀大学)) 軟弱地盤の理工学的性質の把握および環境に配慮した地盤改良材の開発に関する研究指導を行う。</p> <p>(11 田中 宗浩 (佐賀大学)) 農産物の品質保持、バイオマス循環利用技術に関する研究指導を行う。</p> <p>(13 徳田 誠 (佐賀大学)) 植物・昆虫を中心とした生物間相互作用の解析に関する研究指導を行う。</p> <p>(16 藤村 美穂 (佐賀大学)) 農山村の生活組織と環境変化に関する研究指導を行う。</p> <p>(18 弓削 こずえ (佐賀大学)) 農地における水管理技術の高度化と農業用水の多面的機能の定量評価に関する研究指導を行う。</p> <p>(19 吉賀 豊司 (佐賀大学)) 線虫の生理・生態的研究に関する指導を行う。</p> <p>(29 辻 一成 (佐賀大学)) 農業経営の管理運営および経営人材育成、東南アジア開発途上国の農業構造問題に関する研究指導を行う。</p>	共同

授 業 科 目 の 概 要				
(連合農学研究科 農水生命科学専攻)				
科目区分	授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
必修科目 専門知識を掘り下げる科目	学位論文研究（農学、水産学、学術）		<p>(35 西田 翔 (佐賀大学)) 植物の栄養応答と生産性の向上に関する研究指導を行う。</p> <p>(49 大田 伊久雄 (琉球大学)) 森林関連の法制度や持続可能な森林管理に関する国際比較研究に関する指導を行う。</p> <p>(50 梶田 忠 (琉球大学)) 系統分類学、系統地理学、集団遺伝学等を含む植物の多様性研究に関する指導を行う。</p> <p>(52 鬼頭 誠 (琉球大学)) マメ科植物を中心とした窒素、リン栄養に関する研究指導を行う。</p> <p>(55 酒井 一人 (琉球大学)) 農業流域における物質循環の解析に関する研究指導を行う。</p> <p>(57 鹿内 健志 (琉球大学)) 情報科学やシステム工学などを活用した農業生産システムの研究と開発に関する研究指導を行う。</p> <p>(58 杉村 泰彦 (琉球大学)) 農業政策・農業市場に関する研究指導を行う。</p> <p>(60 平良 英三 (琉球大学)) 非破壊計測による農産物の品質評価に関する研究指導を行う。</p> <p>(65 田場 聡 (琉球大学)) 熱帯性植物病害の同定および環境配慮型防除技術の開発に関する研究指導を行う。</p> <p>(66 辻 瑞樹 (琉球大学)) 個体、個体群、生態系に関する進化的観点からの総合的研究に関する指導を行う。</p> <p>(68 内藤 重之 (琉球大学)) 農業市場と食料流通に関する研究指導を行う。</p> <p>(69 中村 真也 (琉球大学)) 農村地域における持続的土地利用と土砂災害に関する教育研究に関する指導を行う。</p> <p>(72 山岡 賢 (琉球大学)) 農村地域における資源循環システムの構築に関する研究指導を行う。</p> <p>(76 木村 匠 (琉球大学)) 農村地域の環境保全、土砂災害の防止・軽減のための土の理工学的特性に関する教育・研究に関する指導を行う。</p> <p>(79 下地 博之 (琉球大学)) 社会性昆虫を用いた進化生態学的研究に関する指導を行う。</p> <p>(86 陳 碧霞 (琉球大学)) 自然環境との共生、文化的な景観の保全及び利活用に関する研究指導を行う。</p> <p>(103 李 哉泫 (鹿児島大学)) フードシステムにおける農業経営の戦略に関する研究指導を行う。</p> <p>(108 坂井 教郎 (鹿児島大学)) 農業政策・農業構造分析に関する研究指導を行う。</p> <p>(109 境 雅夫 (鹿児島大学)) 土壌生態系の構造と機能の解析および土壌微生物機能の利用に関する研究指導を行う。</p> <p>(111 坂巻 祥孝 (鹿児島大学)) 陸上節足動物の形態学および行動学的研究に関する指導を行う。</p>	共同

授 業 科 目 の 概 要				
(連合農学研究科 農水生命科学専攻)				
科目区分	授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
必修科目 専門知識を掘り下げる科目	学位論文研究（農学、水産学、学術）		<p>(158 佐野 雅昭 (鹿児島大学)) 水産業に関わる経済問題の分析に関する研究指導を行う。</p> <p>(116 西野 吉彦 (鹿児島大学)) 木材の物性の究明と木質資源の利用に関する研究指導を行う。</p> <p>(119 豊 智行 (鹿児島大学)) 農産物流通の主体行動と成果に関する研究指導を行う。</p> <p>(120 池永 誠 (鹿児島大学)) 土壌および植物微生物生態系の構造と機能に関する研究、新規微生物の特性解析と分類に関する研究に関する指導を行う。</p> <p>(123 鶴川 信 (鹿児島大学)) 人工林育成技術の開発、木本群落維持機構の解明に関する研究指導を行う。</p> <p>(128 紙谷 喜則 (鹿児島大学)) 食品の安全に関する諸問題を工学的にアプローチするに関する研究指導を行う。</p> <p>(171 久賀 みず保 (鹿児島大学)) 水産業に関わる経済問題の分析に関する研究指導を行う。</p> <p>(134 寺本 行芳 (鹿児島大学)) 土砂災害の発生のしくみとその予測に関する研究指導を行う。</p> <p>(176 鳥居 享司 (鹿児島大学)) 水産業における経済学的構造分析に関する研究指導を行う。</p> <p>(135 中村 正幸 (鹿児島大学)) 植物病理微生物における病原性関連因子の解析に関する研究指導を行う。</p> <p>(137 畑 邦彦 (鹿児島大学)) 森林病虫害の防除、森林生物の生態に関する研究指導を行う。</p> <p>(139 濱中 大介 (鹿児島大学)) 青果物の鮮度保持、品質向上および安全性確保に関する研究指導を行う。</p>	共同
	データ解析演習（農学、水産学、学術）		<p>(概要) 博士としてのデータ解析能力を習得するために、農林水産分野において用いる材料や目的、方法に最適な統計解析・モデリング手法を学ぶ。自らの研究題目の材料を用いて、実践的な演習を指導教員や統計学を専門とする教員と実施する。</p> <p>学習目標 各研究分野の最新の知見について、論文、専門の著書、学術雑誌などを参考に、研究の背景、動向、現在の研究の位置関係を把握し、将来展望について説明することができる。</p> <p>授業計画 1. 自らの研究テーマに即したデータ解析 2. 自らの研究テーマに即したデータ解析 3. 自らの研究テーマに即したデータ解析 4. 自らの研究テーマに即したデータ解析 5. 自らの研究テーマに即したデータ解析 6. 自らの研究テーマに即したデータ解析 7. 自らの研究テーマに即したデータ解析 8. 自らの研究テーマに即したデータ解析 9. 自らの研究テーマに即したデータ解析 10. 自らの研究テーマに即したデータ解析 11. 解析結果の中間報告 12. 中間報告に対する講評への対応 13. 中間発表 14. 中間発表に対する講評への対応 15. 総合討論</p>	共同

授 業 科 目 の 概 要				
(連合農学研究科 農水生命科学専攻)				
科目区分	授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
必修科目 専門知識を掘り下げる科目	データ解析演習（農学、水産学、学術）		<p>(1 一色 司郎 (佐賀大学)) 園芸作物の遺伝と育種に関する演習を行う。</p> <p>(4 古藤田 信博 (佐賀大学)) カンキョウ遺伝資源および園芸作物の生理と機能ゲノミクスに関する演習を行う。</p> <p>(5 後藤 文之 (佐賀大学)) 園芸施設的环境制御および園芸作物の生理に関する演習を行う。</p> <p>(9 鈴木 章弘 (佐賀大学)) 高等植物と微生物との共生メカニズムに関する演習を行う。</p> <p>(12 鄭 紹輝 (佐賀大学)) 熱帯マメ科作物の生態生理及び栽培様式に関する演習を行う。</p> <p>(24 上野 大介 (佐賀大学)) 匂い物質の化学分析による生産環境の改善に関する演習を行う。</p> <p>(31 辻田 有紀 (佐賀大学)) 花卉植物の菌根菌、生態、保全および無菌培養に関する演習を行う。</p> <p>(38 福田 伸二 (佐賀大学)) 果樹の遺伝と育種に関する演習を行う。</p> <p>(39 藤田 大輔 (佐賀大学)) 熱帯作物の遺伝及び改良に関する演習を行う。</p> <p>(42 山中 賢一 (佐賀大学)) 体外胚生産技術の高度化に関する研究に関する演習を行う。</p> <p>(43 渡邊 啓史 (佐賀大学)) ダイズの農業形質に関与する遺伝子座の同定と育種利用に関する演習を行う。</p> <p>(44 松本 雄一 (佐賀大学)) 園芸作物の生産と利用に関する演習を行う。</p> <p>(46 赤嶺 光 (琉球大学)) 暖地型芝草の生理、生態と管理に関する演習を行う。</p> <p>(47 石井 貴広 (琉球大学)) 未利用亜熱帯生物資源からの有用生物活性物質(創薬シード化合物)の探索に関する演習を行う。</p> <p>(48 嬉野 健次 (琉球大学)) 園芸作物の遺伝と育種に関する演習を行う。</p> <p>(56 佐々木 慎二 (琉球大学)) 黒毛和種の遺伝性疾患のゲノム解析に関する演習を行う。</p> <p>(63 建本 秀樹 (琉球大学)) 動物生殖細胞における細胞生理ならびに人為的操作に関する演習を行う。</p> <p>(70 福田 善通 (琉球大学)) 熱帯・亜熱帯地域におけるイネの持続的安定生産に向けた遺伝・育種学研究に関する演習を行う。</p> <p>(71 モハメド アムザド ホサイン (琉球大学)) 熱帯作物生産および雑草管理に関する演習を行う。</p> <p>(150 安樂 和彦 (鹿児島大学)) 動物生理学と漁具漁法に関する演習を行う。</p>	共同

授 業 科 目 の 概 要				
(連合農学研究科 農水生命科学専攻)				
科目区分	授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
必修科目	データ解析演習(農学、水産学、学術)		<p>(151 石川 学 (鹿児島大学)) 水棲動物における栄養素の利用と代謝に関する演習を行う。</p> <p>(105 一谷 勝之 (鹿児島大学)) 作物のゲノミクス・遺伝・育種に関する演習を行う。</p> <p>(152 宇野 誠一 (鹿児島大学)) 化学物質による環境汚染と生物影響評価に関する演習を行う。</p> <p>(153 大富 潤 (鹿児島大学)) 魚介類、特にエビ・カニ類と魚類の資源生態と資源管理に関する演習を行う。</p> <p>(154 小谷 知也 (鹿児島大学)) 増養殖対象種の種苗生産と餌料生物に関する演習を行う。</p> <p>(155 小針 統 (鹿児島大学)) 動物プランクトンの生理学、生産生態、生物地球化学的循環に関する演習を行う。</p> <p>(110 坂上 潤一 (鹿児島大学)) 熱帯・亜熱帯作物の生態と生理に関する演習を行う。</p> <p>(112 志水 勝好 (鹿児島大学)) 作物および有用植物の形態、生態、生理および栽培に関する演習を行う。</p> <p>(113 下桐 猛 (鹿児島大学)) 動物集団の分子遺伝学的手法による評価と活用に関する演習を行う。</p> <p>(160 寺田 竜太 (鹿児島大学)) 海藻・海産顕花植物の分類学、生理学、生態学に関する演習を行う。</p> <p>(161 中村 啓彦 (鹿児島大学)) 海洋力学、海洋物理観測、観測データ解析に関する演習を行う。</p> <p>(162 西 隆一郎 (鹿児島大学)) 沿岸域の環境モニタリングおよび予測に関する演習を行う。</p> <p>(163 バズケス アーチデイル ミゲル フェデリコ (鹿児島大学)) 動物生理学と漁具/漁法に関する演習を行う。</p> <p>(117 三好 和睦 (鹿児島大学)) 動物における発生工学的技術の開発と応用に関する演習を行う。</p> <p>(164 本村 浩之 (鹿児島大学)) 魚類の分類・進化・生物地理学に関する演習を行う。</p> <p>(165 山本 智子 (鹿児島大学)) 底生生物の群集生態学に関する演習を行う。</p> <p>(118 山本 雅史 (鹿児島大学)) 果樹の遺伝、育種及び遺伝資源に関する演習を行う。</p> <p>(166 吉川 毅 (鹿児島大学)) 微生物による水圏環境の保全に関する演習を行う。</p> <p>(168 江幡 恵吾 (鹿児島大学)) 持続可能な水産業の構築に向けた漁具漁法、漁場造成に関する教育・研究に関する演習を行う。</p> <p>(125 大島 一郎 (鹿児島大学)) 持続可能な肉用家畜の生産システムに関する演習を行う。</p>	共同

授 業 科 目 の 概 要				
(連合農学研究科 農水生命科学専攻)				
科目区分	授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
必修科目 専門知識を掘り下げる科目	データ解析演習（農学、水産学、学術）		<p>(169 奥西 将之 (鹿児島大学)) 赤潮モニタリング、赤潮防除対策、微生物を用いた環境保全に関する演習を行う。</p> <p>(172 久米 元 (鹿児島大学)) 魚類の生活史研究、保全生態学に関する演習を行う。</p> <p>(132 高山 耕二 (鹿児島大学)) 動物の行動と野生動物の管理に関する演習を行う。</p> <p>(175 土井 航 (鹿児島大学)) 水生無脊椎動物の資源生物学に関する演習を行う。</p> <p>(2 北垣 浩志 (佐賀大学)) 発酵微生物の細胞内小器官・物質代謝解析とその産業的利用に関する演習を行う。</p> <p>(7 小林 元太 (佐賀大学)) 有用微生物の分離とバイオマスの有効活用に関する演習を行う。</p> <p>(6 後藤 正利 (佐賀大学)) 糸状菌の機能解析と利用に関する演習を行う。</p> <p>(10 宗 伸明 (佐賀大学)) 新規な食品・生体分析法の開発、生体高分子・天然物を活用した先端材料の創出に関する演習を行う。</p> <p>(14 永尾 晃治 (佐賀大学)) 食品成分の栄養生理機能、生体内の糖・脂質代謝に関する演習を行う。</p> <p>(15 濱 洋一郎 (佐賀大学)) 複合糖質の構造と機能に関する演習を行う。</p> <p>(17 光武 進 (佐賀大学)) 細胞膜脂質の生理機能とその食品への応用に関する演習を行う。</p> <p>(26 川口 真一 (佐賀大学)) 天然資源を利用した化粧品や医薬品の開発に関する演習を行う。</p> <p>(27 木村 圭 (佐賀大学)) 分子細胞生物学的アプローチによる藻類生命現象の解明に関する演習を行う。</p> <p>(30 辻田 忠志 (佐賀大学)) 脊椎動物における環境応答に関する分子メカニズムの解析と創薬応用に関する演習を行う。</p> <p>(34 永野 幸生 (佐賀大学)) 真核生物の生化学・分子生物学に関する演習を行う。</p> <p>(36 野間 誠司 (佐賀大学)) 食品加工プロセスの開発と改良に関する演習を行う。</p> <p>(51 金子 哲 (琉球大学)) 植物細胞壁多糖・海藻多糖の分解と利用に関する演習を行う。</p> <p>(53 小西 照子 (琉球大学)) 植物細胞壁多糖の構造と機能および生合成機能に関する演習を行う。</p> <p>(59 瀬尾 光範 (琉球大学)) 植物ホルモンと環境応答に関する演習を行う。</p> <p>(61 平良 東紀 (琉球大学)) 微生物および植物由来酵素の機能解析に関する演習を行う。</p>	共同

授 業 科 目 の 概 要				
(連合農学研究科 農水生命科学専攻)				
科目区分	授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
必修科目	データ解析演習（農学、水産学、学術）		<p>(62 高良 健作 (琉球大学)) 食品の機能性評価および分析に関する演習を行う。</p> <p>(67 外山 博英 (琉球大学)) 有用微生物の分子生物学と微生物酵素の機能開発に関する演習を行う。</p> <p>(73 稲福 征志 (琉球大学)) 食資源の機能性解析とその応用に関する演習を行う。</p> <p>(75 岩崎 公典 (琉球大学)) 食品機能性成分の分子栄養代謝調節機構に関する演習を行う。</p> <p>(84 高橋 誠 (琉球大学)) 有用生物資源からの食品加工と食素材の開発に関する演習を行う。</p> <p>(92 水谷 治 (琉球大学)) 発酵微生物の遺伝子工学と分子育種に関する演習を行う。</p> <p>(94 ヨナタン アシキン (琉球大学)) 食品の美味しさおよびそのフレーバー成分の分析に関する演習を行う。</p> <p>(104 石橋 松二郎 (鹿児島大学)) 微生物によるタンパク質生産とタンパク質工学に関する演習を行う。</p> <p>(106 大塚 彰 (鹿児島大学)) 体タンパク質ならびに脂質の代謝調節に関する分子機構に関する演習を行う。</p> <p>(107 北原 兼文 (鹿児島大学)) 根菜類の糖質化学に関する演習を行う。</p> <p>(156 小松 正治 (鹿児島大学)) 水圏天然化合物・食品の機能発現機序に関する演習を行う。</p> <p>(159 塩崎 一弘 (鹿児島大学)) 複合糖質の生理機能解析に関する演習を行う。</p> <p>(114 高峯 和則 (鹿児島大学)) 発酵食品の機能性および香気解析に関する演習を行う。</p> <p>(115 玉置 尚徳 (鹿児島大学)) 真核微生物の機能解析に関する演習を行う。</p> <p>(121 井尻 大地 (鹿児島大学)) タンパク質分解の調節機構、畜産食品の機能性評価に関する演習を行う。</p> <p>(127 加治屋 勝子 (鹿児島大学)) 天然物に含まれる生体調節分子の構造、機能および生物科学的応用に関する演習を行う。</p> <p>(140 藤田 清貴 (鹿児島大学)) 糖質分解酵素の機能解析と利用に関する演習を行う。</p> <p>(141 二神 泰基 (鹿児島大学)) 醸造微生物の解析と分子育種に関する演習を行う。</p> <p>(144 吉崎 由美子 (鹿児島大学)) 食品の特徴的香り成分の分析とその生成メカニズムの解明に関する演習を行う。</p> <p>(146 フェスターガード ムンデランジ キャサリン ムタンゲーイ (鹿児島大学)) 食品や農業分野等におけるバイオセンサーおよびバイオメトリック技術の応用に関する演習を行う。</p>	共同

授 業 科 目 の 概 要				
(連合農学研究科 農水生命科学専攻)				
科目区分	授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
必修科目	データ解析演習（農学、水産学、学術）		<p>(180 大野木 宏(タカラバイオ株式会社)) 食品資源の生物活性評価による機能性解析に関する演習を行う。</p> <p>(181 峰野 純一(タカラバイオ株式会社)) 細胞・遺伝子治療関連技術の産業応用に関する演習を行う。</p> <p>(182 榎 竜嗣(タカラバイオ株式会社)) 再生医療関連技術の産業応用に関する演習を行う。</p> <p>(3 草場 基章 (佐賀大学)) 植物-微生物間相互作用の分子遺伝学的解析に関する演習を行う。</p> <p>(8 近藤 文義 (佐賀大学)) 軟弱地盤の理工学的性質の把握および環境に配慮した地盤改良材の開発に関する演習を行う。</p> <p>(11 田中 宗浩 (佐賀大学)) 農産物の品質保持、バイオマス循環利用技術に関する演習を行う。</p> <p>(13 徳田 誠 (佐賀大学)) 植物・昆虫を中心とした生物間相互作用の解析に関する演習を行う。</p> <p>(16 藤村 美穂 (佐賀大学)) 農山村の生活組織と環境変化に関する演習を行う。</p> <p>(18 弓削 こずえ (佐賀大学)) 農地における水管理技術の高度化と農業用水の多面的機能の定量評価に関する演習を行う。</p> <p>(19 吉賀 豊司 (佐賀大学)) 線虫の生理・生態的研究に関する指導を行う。</p> <p>(29 辻 一成 (佐賀大学)) 農業経営の管理運営および経営人材育成、東南アジア開発途上国の農業構造問題に関する演習を行う。</p> <p>(35 西田 翔 (佐賀大学)) 植物の栄養応答と生産性の向上に関する演習を行う。</p> <p>(49 大田 伊久雄 (琉球大学)) 森林関連の法制度や持続可能な森林管理に関する国際比較研究に関する演習を行う。</p> <p>(50 梶田 忠 (琉球大学)) 系統分類学、系統地理学、集団遺伝学等を含む植物の多様性研究に関する演習を行う。</p> <p>(52 鬼頭 誠 (琉球大学)) マメ科植物を中心とした窒素、リン栄養に関する演習を行う。</p> <p>(55 酒井 一人 (琉球大学)) 農業流域における物質循環の解析に関する演習を行う。</p> <p>(57 鹿内 健志 (琉球大学)) 情報科学やシステム工学などを活用した農業生産システムの研究と開発に関する演習を行う。</p> <p>(58 杉村 泰彦 (琉球大学)) 農業政策・農業市場に関する演習を行う。</p> <p>(60 平良 英三 (琉球大学)) 非破壊計測による農産物の品質評価に関する演習を行う。</p> <p>(65 田場 聡 (琉球大学)) 熱帯性植物病害の同定および環境配慮型防除技術の開発に関する演習を行う。</p>	共同

授 業 科 目 の 概 要				
(連合農学研究科 農水生命科学専攻)				
科目区分	授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
必修科目	データ解析演習（農学、水産学、学術）		<p>(66 辻 瑞樹 (琉球大学)) 個体、個体群、生態系に関する進化的観点からの総合的研究に関する演習を行う。</p> <p>(68 内藤 重之 (琉球大学)) 農業市場と食料流通に関する演習を行う。</p> <p>(69 中村 真也 (琉球大学)) 農村地域における持続的土地利用と土砂災害に関する教育研究に関する演習を行う。</p> <p>(72 山岡 賢 (琉球大学)) 農村地域における資源循環システムの構築に関する演習を行う。</p> <p>(76 木村 匠 (琉球大学)) 農村地域の環境保全、土砂災害の防止・軽減のための土の理工学的特性に関する教育・研究に関する指導を行う。</p> <p>(79 下地 博之 (琉球大学)) 社会性昆虫を用いた進化生態学的研究に関する指導を行う。</p> <p>(86 陳 碧霞 (琉球大学)) 自然環境との共生、文化的な景観の保全及び利活用に関する演習を行う。</p> <p>(103 李 哉泫 (鹿児島大学)) フードシステムにおける農業経営の戦略に関する演習を行う。</p> <p>(108 坂井 教郎 (鹿児島大学)) 農業政策・農業構造分析に関する演習を行う。</p> <p>(109 境 雅夫 (鹿児島大学)) 土壌生態系の構造と機能の解析および土壌微生物機能の利用に関する演習を行う。</p> <p>(111 坂巻 祥孝 (鹿児島大学)) 陸上節足動物の形態学および行動学的研究に関する演習を行う。</p> <p>(158 佐野 雅昭 (鹿児島大学)) 水産業に関わる経済問題の分析に関する演習を行う。</p> <p>(116 西野 吉彦 (鹿児島大学)) 木材の物性の究明と木質資源の利用に関する演習を行う。</p> <p>(119 豊 智行 (鹿児島大学)) 農産物流通の主体行動と成果に関する演習を行う。</p> <p>(120 池永 誠 (鹿児島大学)) 土壌および植物微生物生態系の構造と機能に関する研究、新規微生物の特性解析と分類に関する研究に関する演習を行う。</p> <p>(123 鶴川 信 (鹿児島大学)) 人工林育成技術の開発、木本群落維持機構の解明に関する演習を行う。</p> <p>(128 紙谷 喜則 (鹿児島大学)) 食品の安全に関する諸問題を工学的にアプローチするに関する演習を行う。</p> <p>(171 久賀 みず保 (鹿児島大学)) 水産業に関わる経済問題の分析に関する演習を行う。</p> <p>(134 寺本 行芳 (鹿児島大学)) 土砂災害の発生のしくみとその予測に関する演習を行う。</p> <p>(176 鳥居 享司 (鹿児島大学)) 水産業における経済学的構造分析に関する演習を行う。</p>	共同

授 業 科 目 の 概 要				
(連合農学研究科 農水生命科学専攻)				
科目区分	授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
必修科目	データ解析演習（農学、水産学、学術）		<p>(135 中村 正幸 (鹿児島大学)) 植物病理微生物における病原性関連因子の解析に関する演習を行う。</p> <p>(137 畑 邦彦 (鹿児島大学)) 森林病虫害の防除、森林生物の生態に関する演習を行う。</p> <p>(139 濱中 大介 (鹿児島大学)) 青果物の鮮度保持、品質向上および安全性確保に関する演習を行う。</p>	共同
	農水生命科学特論		<p>(概要) 博士の学位に相応しい最先端の専門知識を修得する。 各大学の遠隔講義システム (SINET) 設置部屋に集合して、対面あるいは遠隔授業を受ける。</p> <p>学習目標 1. 学位の種別に即した研究分野の講義の要点を説明することができる。 2. 英語で書かれたスライドを用いて日本語で行われる講義の要点を説明することができる。 3. 英語で行われる講義の要点を説明することができる。</p> <p>授業計画 1. 講義A 動物遺伝学 2. 講義B 水族栄養化学 3. 講義C 施設園芸学 4. 講義D 分析化学・材料化学 5. 講義E 食品化学 6. 講義F 農業経済学 7. 講義G 灌漑利水学 8. 講義H 植物病理学</p> <p>(オムニバス方式／全8回) (113 下桐 猛 (鹿児島大学) /1回) 動物遺伝学 (151 石川 学 (鹿児島大学) /1回) 水族栄養化学 (5 後藤 文之 (佐賀大学) /1回) 施設園芸学 (10 宗 伸明 (佐賀大学) /1回) 分析化学・材料化学 (62 高良 健作 (琉球大学) /1回) 食品化学 (108 坂井 教郎 (鹿児島大学) /1回) 農業経済学 (18 弓削 こずえ (佐賀大学) /1回) 灌漑利水学 (65 田場 聡 (琉球大学) /1回) 植物病理学</p>	オムニバス方式 ・メディア
	農学特別講義		<p>(概要) 構成3大学の学生が一同に会して、同時に受講する集中講義形式で実施する。講師は内部教員、外部講師から選定し、講義は分野の異なる学生が十分理解できるとともに先端的でトピック性のある内容を提供する。講義、プレゼンテーション、ポスターセッションなどの多様なメニューを通じて、幅広い知識を修得するとともに、発表能力、課題探求能力、創造性を養う。 全プログラムを対面形式で実施する。</p> <p>学習目標 1. 異なる分野の講義の要点を説明することができる。 2. 自分の研究内容を分かり易く正確に説明することができる。</p> <p>授業計画 1. 講義A 2. 講義B 3. 講義C 4. 講義D 5. セミナー：1年生による研究内容のプレゼンテーション 6. ポスターセッション：2年生による研究内容のプレゼンテーション</p> <p>(160 寺田 竜太 (鹿児島大学)) 代表担当教員／総括を行う。 (183 後藤 貴文 /1回) (184 ニシハラ クレゴリー ナギ /1回) (185 緒方 英彦 /1回) (186 中野 浩平 /1回)</p>	オムニバス方式

授 業 科 目 の 概 要				
(連合農学研究科 農水生命科学専攻)				
科目区分	授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
選択必修科目	農学共通講義 I		<p>(概要) 全国6連大に参加する17大学が連携して開講する（日本語）。単一大学の教育では不可能な多彩な講師陣による幅広い分野の講義を通して、学際的な視点の知識を修得する。 各大学の遠隔講義システム（SINET）設置部屋に集合して、対面あるいは遠隔授業を受ける。 各連大の構成大学から選出された教員による最先端の講義（日本語）を実施する。専門的知識を修得するとともに、他連大の学生と講義を共有することにより幅広い視野を持てる。</p> <p>授業計画 1. 講義A 全国6連大の教員による最新のトピック 2. 講義B 全国6連大の教員による最新のトピック 3. 講義C 全国6連大の教員による最新のトピック 4. 講義D 全国6連大の教員による最新のトピック 5. 講義E 全国6連大の教員による最新のトピック 6. 講義F 全国6連大の教員による最新のトピック 7. 講義G 全国6連大の教員による最新のトピック 8. 講義H 全国6連大の教員による最新のトピック 9. 講義I 全国6連大の教員による最新のトピック 10. 講義J 全国6連大の教員による最新のトピック 11. 講義K 全国6連大の教員による最新のトピック 12. 講義L 全国6連大の教員による最新のトピック</p> <p>(160 寺田 竜太（鹿児島大学） 代表担当教員／総括を行う。 (113 下桐 猛（鹿児島大学）／1回) (187 小川 直人／1回) (188 佐藤 周之／1回) (189 丸山 広達／1回) (190 永松 大／1回) (191 斎藤 靖史／1回) (192 小林 佑理子／1回) (107 北原 兼文（鹿児島大学）／1回) (193 前田 智雄／1回) (194 西原 宏史／1回) (195 久保 満佐子／1回) (196 福与 徳文／1回)</p>	オムニバス方式 ・メディア

授 業 科 目 の 概 要				
(連合農学研究科 農水生命科学専攻)				
科目区分	授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
選択必修科目	農学共通講義Ⅱ		<p>(概要) 全国6連大に参加する17大学が連携して開講する（英語）。単一大学の教育では不可能な多彩な講師陣による幅広い分野の講義を通して、学際的な視点の知識を修得する。 各大学の遠隔講義システム（SINET）設置部屋に集合して、対面あるいは遠隔授業を受ける。 各連大の構成大学から選出された教員による最先端の講義（日本語）を実施する。専門的知識を修得するとともに、他連大の学生と講義を共有することにより幅広い視野を持てる。</p> <p>授業計画 1. 講義A 全国6連大の教員による最新のトピック 2. 講義B 全国6連大の教員による最新のトピック 3. 講義C 全国6連大の教員による最新のトピック 4. 講義D 全国6連大の教員による最新のトピック 5. 講義E 全国6連大の教員による最新のトピック 6. 講義F 全国6連大の教員による最新のトピック 7. 講義G 全国6連大の教員による最新のトピック 8. 講義H 全国6連大の教員による最新のトピック 9. 講義I 全国6連大の教員による最新のトピック 10. 講義J 全国6連大の教員による最新のトピック 11. 講義K 全国6連大の教員による最新のトピック 12. 講義L 全国6連大の教員による最新のトピック</p> <p>(160 寺田 竜太（鹿児島大学））代表担当教員／総括を行う。 (197 山田 美和／1回) (198 小針 大助／1回) (199 福田 信二／1回) (200 飯尾 敦弘／1回) (201 會見 忠則／1回) (202 真野 純一／1回) (203 須賀 晴久／1回) (204 關 伸吾／1回) (205 程 為国／1回) (206 末吉 紀行／1回) (63 建本 秀樹（琉球大学）／1回) (151 石川 学（鹿児島大学）／1回)</p>	オムニバス方式 ・メディア
	洋上セミナー		<p>(概要) 水産学部附属練習船かごしま丸に乗船して座学及び実習を実施する。 ・実習：海洋観測と海洋生物資源調査など ・講義(ゼミ)：乗船学生の研究内容の紹介、乗船研究者のキャリア形成・研究内容の講演、海洋観測に関する議論など 本セミナーは大型練習船を利用して洋上で実施します。洋上の特殊な環境で行う海洋観測や生物採集技術の座学や実習は貴重な経験になるでしょう。海洋環境や海洋生物に興味のある院生の参加を期待します。</p>	

授 業 科 目 の 概 要				
(連合農学研究科 農水生命科学専攻)				
科目区分	授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
選択必修科目	キャリア開発特論		<p>(概要) 大学、公共の研究所、企業など、社会の第一線で活躍する講師による実践的講義を通して、社会が求める博士人材の在り方と自ら進むべきキャリアについて学ぶ。 各大学の遠隔講義システム（SINET）設置部屋に集合して、対面あるいは遠隔授業を受ける。</p> <p>学習目標 倫理観、社会性、国際性、社会経験、リーダーシップ、責任感等について説明することができる。</p> <p>授業計画 1. 講義A 社会の第一線で活躍する講師による実践的研究レビュー 2. 講義B 社会の第一線で活躍する講師による実践的研究レビュー 3. 講義C 社会の第一線で活躍する講師による実践的研究レビュー 4. 講義D 社会の第一線で活躍する講師による実践的研究レビュー 5. 講義E 社会の第一線で活躍する講師による実践的研究レビュー 6. 講義F 社会の第一線で活躍する講師による実践的研究レビュー 7. 講義G 社会の第一線で活躍する講師による実践的研究レビュー 8. 講義H 社会の第一線で活躍する講師による実践的研究レビュー</p> <p>(160 寺田 竜太 (鹿児島大学)) 代表担当教員/総括を行う。 (184 シハラ グレゴリー ナタレ/1回) (207 三根 崇幸/1回) (208 渡邊 裕基/1回) (209 島袋 寛盛/1回) (210 小園 淳平/1回) (211 松井 英明/1回) (212 Iris Ann G. Borlongan/1回) (213 松岡 卓司/1回)</p>	オムニバス方式 ・メディア
	研究インターンシップ		<p>(概要) 公設研究機関や企業等の研究員を目指す学生を対象とし、組織として取り組む研究や技術開発に参加するインターンシップとして開講。組織の一員としての使命と倫理観、社会性、博士の学位取得者の在り方を学ぶ。</p> <p>(160 寺田 竜太 (鹿児島大学))</p>	
	大学教育インターンシップ		<p>(概要) 大学教員を目指す学生を対象とし、大学教員としての教授法や指導論に触れるインターンシップとして開講。対話型講義・演習・実習の補助や下級生への指導補助を通し、大学教員として求められる教授法の向上を目指す。</p> <p>(160 寺田 竜太 (鹿児島大学))</p>	